



創り 告

響かそう 世界へライオンズの鐘



創造3C (クリエイト・チェンジ・チャレンジ)

N04

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 地区ニュース 1996年3月1日発行 (1995-1996)

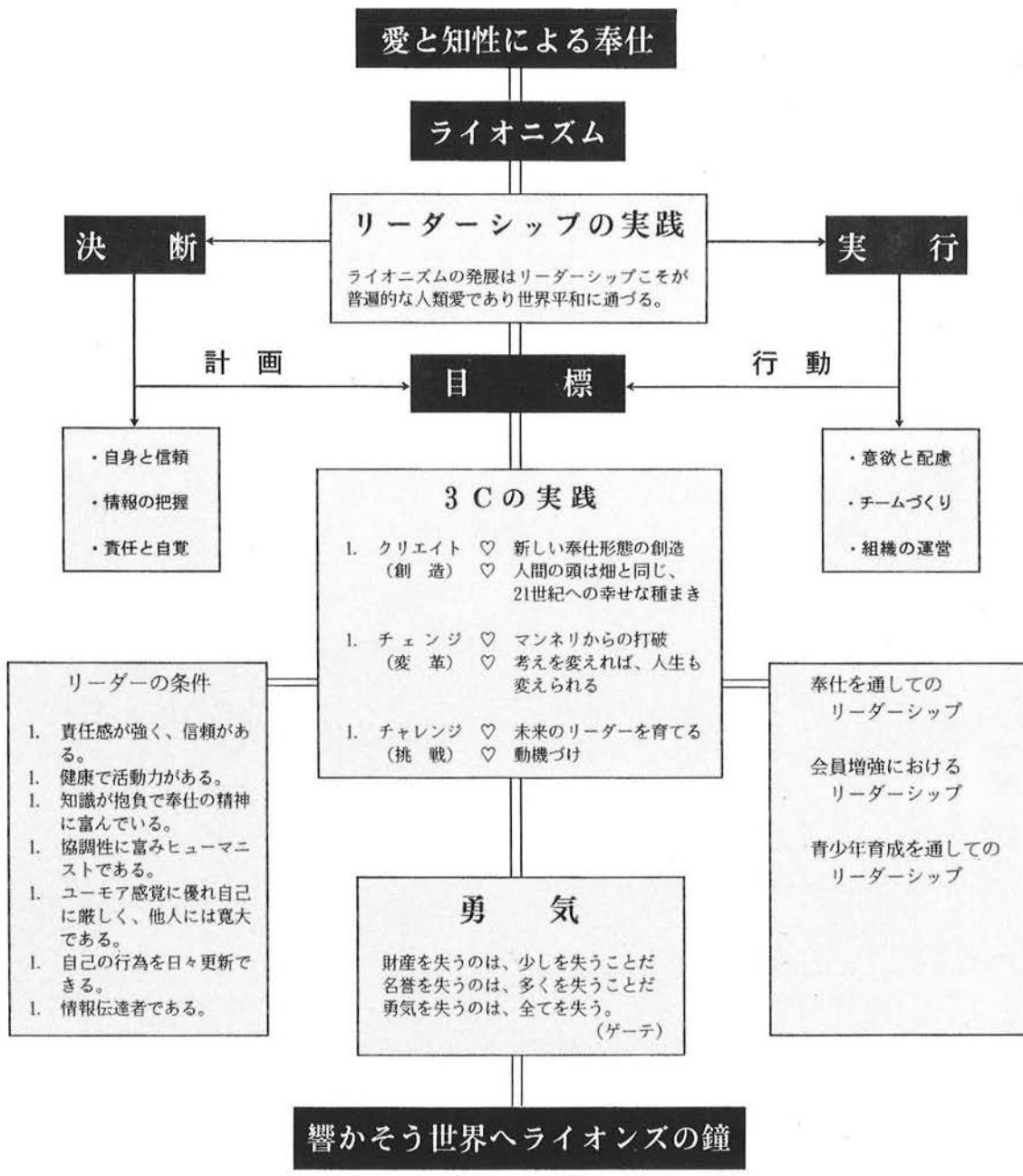
国際会長 ウィリアム・H・ワンダー

We Serve



333-C地区ガバナー L. 林 静 誠

〈リーダーシップ〉



創造

No. 4

1995年～1996年
ライオンズクラブ国際協会
333-C地区 地区ニュース



CONTENTS

目次

リーダーシップ表	2	
第3回キャビネット会議開催	4	
写真で綴るガバナー日記	6	
日本網膜色素変性症協会支援	8	
ライオンズのリストラ／いのちの電話	10	
弁論大会	11	
献血推進／合同オリエンテーション	12	
ライオンズカップ／薬害パンフ	13	
歴代ガバナーおもいでばなし	14	
元ガバナー L. 秋場 寛		
元ガバナー L. 平井 勇		
元ガバナー L. 橋口 一夫		
市原東LC結成会	16	
佐倉中央LC結成会	17	
さざんかLCチャーターナイト レオクラブ複合研修会	18	
八千代東レオ／印西レオ結成会	19	
クラブ活動レポート	20	
下総中山ライオンズクラブ	市川北ライオンズクラブ	
行徳ライオンズクラブ	松戸中央ライオンズクラブ	
流山ライオンズクラブ	柏中央ライオンズクラブ	
白井ライオンズクラブ	房州柳夷ライオンズクラブ	
佐原ライオネスクラブ	君津ライオネスクラブ	
YEレポート	25	
ほら吹き大会		
「私がガバナーになつたら」	28	
わがクラブ自慢	32	
船橋東ライオンズクラブ	白井ライオンズクラブ	
ライオン広場	34	
L.伊藤 正義	L.渡辺 優雄	L.江田 健治
L.佐土 一正	L.小宮 保廣	
チャリティーランナー L.横田	／地区のうごき	
松井天山・鳥瞰図 八街市	39	
物故ライオン	40	
新しい風	41	
編集後記	42	



ザウススキー場内
提供 L.北端 保路
(習志野中央LC)

—— 表紙 ——
室内スキー場「ザウス」
4R.1Z 船橋ポートLC
L. 小石 稔 協力
—— テーマ ——
地区内の国際的な多くの人の集まる場所

創造

題字は
地区ガバナー
L. 林 静誠

第3回キャビネット会議開催

1996年2月11日千葉県労働者福祉センターに於いてライオンズクラブ国際協会333-C地区第三回キャビネット会議が開催されました。ガバナー提出議案と年次大会提出議案は下記の通り提出され承認可決されました。

ガバナー提出議案

●第1号議案 本年度中間会計報告(1995.7.1~1995.12.31)承認の件

(1)一般会計 (2)年次大会会計 (3)青少年育成資金会計 (4)特別会計 (5)災害緊急援助資金会計 (6)地区ACT資金会計 (7)YE緊急援助資金含み (8)千葉県青少年振興基金会計

●第2号議案 次期キャビネットへ前渡金の件、次のとおり決したい

次期キャビネットの活動準備金として、一般会計の予備費のうち100万円を前渡し致したい。

●第3号議案 1996~97年度地区年次大会を次のとおり開催することに決したい。

日時：1997年4月20日(日)

場所：松戸市：森のホール21

ホストクラブ：松戸LC, 松戸中央LC, 松戸東LC, 松戸ユーカリLC, 松戸グリーンLC,

●第4号議案 次期キャビネット構成員等研修会、次期クラブ三役研修会を次のとおり開催することに決したい。

次期クラブ三役研修会 1996年5月19日(日)

次期キャビネット構成員等研修会 1996年5月11日(土)

●第5号議案 第42回地区年大会提出議案について次のように決したい。

提出議案を別記のとおりと致したい。各分科会において審議願うことになるが、追加提案、各分科会への議案の振り分け、及び各分科会の研究討論テーマについてはガバナーに一任願いたい。

●第6号議案 年次大会アワードについて下記の通りとする。

地区賞、ガバナー賞、部門賞、金銭ACT賞、新規アワード(申告制)として、授与の基準は、第1回キャビネット会議に準ずる。選考については、リジョンチェアマン会議において協議、最終決定はガバナーに一任する。

●第7号議案 年次大会会場固定化及び検討運営委員会

委員選出及び検討課題、委員会設置期間

委員：地区ガバナー、全地区ガバナー、

顧問会議長、地区幹事、地区会計 } 当年度
地区年次大会委員長、地区年次大会事務局長

L.山田源一(市川LC), L.西野茂(浦安LC), L.片岡義一(柏LC), L.中村新一郎(千葉エコーLC), L.小笠原和雄(佐原LC), L.飯島甫(旭LC),

当年度地区ガバナーが推薦する委員若干名

議題：運営と効果について

期間：1996.7.1~1998.12.31

●第8号議案 委員長選出について

複合地区指導力委員長、会員委員長(各任期3年)

選出について 333複合地区ガバナー協議会議長、各ガバナーに一任の件。

●第9号議案 アイヘルスプログラムについて

アイヘルスプログラム委員長、委員(任期3年)選出について 333複合地区ガバナー協議会議長、各地区ガバナーに一任の件



年次大会提出議案

【1】指名選挙・国際理事候補者推薦委員会提出議案

- 第1号議案 次期地区ガバナー選出の件（地区ガバナー提出議案）

次期地区ガバナー候補者は現副地区ガバナーハ浮谷俊行（松戸LC）1名である。

- 第2号議案 次期副地区ガバナー選出の件（地区ガバナー提出議案）

次期副地区ガバナー候補者はL飯塚一郎（成田LC）1名である。

- 第3号議案 国際理事立候補者推薦の件（地区ガバナー提出議案）

333複合地区ガバナー協議会の決議を尊重し、1996～'98年度国際理事としてL吉田憲史（337-D地区熊本LC所属）を推薦する。

【2】決議委員会提出議案

- (1) 会則・政策・会員・EXT・経理分科会

- 第1号議案 複合地区会則改訂の件（ガバナー協議会議長提案）複合地区会則は別記のとおり。（会議資料30～31頁参照）

- 第2号議案 次期アクティビティ・スローガンを「みんなで展開しよう奉仕の創造」と致したい。（松戸LC）

- 第3号議案 千葉県青少年育成基金の規則（案）並びに役員について

第2回キャビネット会議に於いて承認を頂きました

た千葉県青少年育成基金設立に伴って規則（案）並びに役員について別添付のとおり承認願いたい。（5～9頁参照）

- 第4号議案 第5R・第1、第2Zの分割について下記のとおりと致したい。

ゾーン分割案

第1Z：千葉LC・千葉中央LC・千葉幕張メッセLC・千葉グリーンLC・レオクラブ結成予定

第2Z：千葉エコーLC・千葉京葉LC・千葉若潮LC・千葉ポートLC・千葉京葉LSC

第3Z：市原LC・市原南LC・市原コスモスLC・市原中央LC・市原東LC・市原南LSC

- 第5号議案 1998年長野オリンピック・パラリンピック冬季競技会支援の件

標記大会を支援するため、会員1名あたり600円を拠出されたい。

- 第6号議案 青少年育成資金拠出金について会員1人当たり2,000円（年間）とする。

- 第7号議案 地区アクティビティ資金規則改訂の件（地区ガバナー提案）

地区アクティビティ資金規則を10頁の通り改める。

- (2) F献血・献血・献腎・薬物乱用防止・糖尿病教育・視聴力保護・言語障害・盲人福祉分科会

第1号議案 献血推進研究会の件

献血推進研究会を今後毎年、年度始め（7月）に開催し、献血ACT推進に協力せられたい。

夢を育てるアルファ預金

京葉銀行
私たちの
キャンバスには
夢がいっぱい！

貯蓄預金

スーパー定期

アルファ横立定期預金

積立

写真で綴る ガバナー日記



↑弁論大会のゲストスピーカー、ラリサ・スタニヤウスさん(ラトビア)と趙誠順さん(韓国)と。すばらしいスピーチにガバナー感激して涙を流す。



↑第1回国際アイバンクシンポジウムで熱弁。



↑6Rワンナイトクルーズに参加。
楽しいひとときをすごす。



↑第一空挺団初降下。防衛庁長官、空挺団長とともに乾杯の音頭をとる。



↓香港での東洋東南アジアフォーラムのあいまに、手打ち麺にいどむ結果は…。



↑国際交流を実践。



↑千葉京葉ライオンズクラブ主催のダンスパーティーで見事(?)なステップ



↑船橋東LC25周年で、カナダよりのゲストと地元「ばか面踊り」の子供たちと一緒にパチリ。



↑ 船橋さざんかLCのチャリティーゴルフにてスポンサークラブの船橋ポートLCのメンバーと。

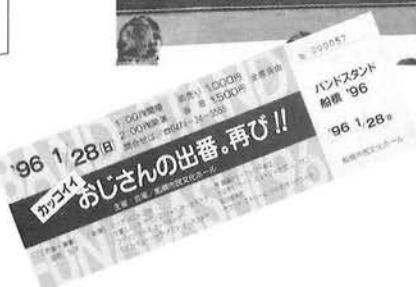


↑ 「ようこそ」冬期YE来日生と。

ガバナーに忙中開あり！

ある友人から県内のアマチュアのフルバンド8団体が出演する「バンドスタンド船橋96」“カッコイイおじさんの出番。再び!!”という何か面白そうなサブタイトルのついた音楽会のチケットを戴いた。なんとそこにはガバナーL. 林静誠が実行委員長として挨拶し、楽しく愉快に棒を振っているではないか、聞くところによるとつい先程小山で複合レオ地区研修会で講演した帰りとの事。タフとカッコよさに脱帽。

L. K. Y



↑ 「小さな親切運動」で子供たちを表彰。



↑ ドイツ軍人戦没追悼慰靈祭を主催。



↑ 地域警察を慰問。



ハイリッヒ・データリッヒ・デックマン、ドイツ連邦共和国大使と。→

日本網膜色素変性症協会 (JRPS)支援について

地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員長 L.植村 力子



昨年9月23日第1回「世界網膜色素変性症の日の集い」が千葉市で盛大に開催されました。1925年ヘレン・ケラー女史が盲人の為の援助を訴えて以来70年の歳月。ライオンズにとって主要アクティビティになっております。

難病である網膜色素変性症は、視力低下を経て失明に至り治療法が未だ解明されておりません。全世界32カ国加盟する国際網膜色素変性症協会(IRPA)がスイスのチューリッヒを国際本部として世界的支援活動を展開しております。日本におきましても、千葉大学安達恵美子教授が中心となって1994年5月IRPS日本支部が設立され国際協会の一員として活動出来る様になりました。

この会の特徴は、患者、医師、支持者（現在は主としてLC）が三位一体となって活動することであり病気の治療法の解明に向かって懸命に努力しております。

患者の方々は個人的な経験とともに日々の生活を生きていかなければならず、ある日突然人生が変わってしまい、計画や教え、希望が延期になってしまったかの様に将来が不安になってしまいます。人は知

らないことを最も恐れ「失明」「視力が不自由」の事実に自分には見えてないものは存在しないのも当然になり、水の入ったカップもひっくり返してしまうことが起きてきます。自分の家族や友人に本当に見えているものを分からせるのはとても難しく、一方で自分自身がどれだけ沢山あるいはどれだけ少なく見えているのかを知らせることも難しいとされています。

治療法を見つけるという研究には9万人にもなるという患者さんの経験を交換し合い、悩み、恐れ、悲しみ、そして怒りを情報として得ることです。この分野の研究には眼科の研究の中で最も興味あるひとつになり現在、主要研究の分野は、遺伝、増悪因子、移植そして臨床研究であります。

今後治療法を見つけるための手だすけとしては是非ライオンズメンバー会員の応援をよろしくお願い致します。

この様な中でアメリカによる「失明兵器」レーザーを使う「目つぶし兵器」とも言われている開発も完成直前で禁止されるニュースを知りほつとしているところであります。、



『第一回世界網膜色素変性症の日の集い』

千葉LC会長 L. 恵藤 太郎

眼の難病・網膜色素変性症の支援組織については333-C地区のライオンズの力で支えて来ているが、その記念すべき行事がライオンズメンバーの奉仕により9月23日千葉市で盛大に開催された。

この病気の支援団体であるIRPA(国際網膜色素変性症協会)では、パリで開かれた国際大会の決定により本年より9月23日を『世界網膜色素変性症の日』と定め社会への啓蒙キャンペーンを世界的に実施することとなった。

8月の末になってIRPAの日本支部であるJRPの小野塚有可会長より第一回世界RPデーの記念行事について準備の日数もなく悩んでいることを聞いた千葉LCではこの記念すべき行事を是非とも実現させようと決定し、JRP支援理事でもある地区名誉顧問会議長松丸善次郎L、地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員長植村力子L、そして5R. リゾンシェアマン林隆而Lの各氏へイベント開催への支援をお願いした。

日数も予算も乏しいので5R. 1Z. ゾーンシェアマン岡野正義Lに会場とアトラクションを提供していただき、市内の各クラブ会長Lには出席者の確保の面で協力を要請し、また各報道機関にも通知し広報面での協力をお願いした。

一方、千葉大学眼科医局ではポスターを作成するなど強力な支援体制をとって頂いた。そのポスターには「網膜色素変性症は何百万人もの人々の視力を損なうものです。この患者の病因解明と治療法の確立のため、努力しております」と記されていた。

当日は快晴。午前11時前から会場の千葉興業銀行千葉支店7階にある立派なハイビジョンホールにLメンバーが集まり手作りの準備作業が始まる。12時半には患者理事も集まり理事会を行う。

その間に市内各クラブのメンバーも多数駆けつけて頂き、照明等の点検が済む頃には160席の会場も7割近くが埋まりどうやら盛会が期待されそうで関係者一同ホッとする。

午後1時30分開会。JRP S小野塚有可会長の挨拶に続いてJRP S学術理事・千葉大学医学部眼科安達恵美子教授の講演『網膜色素変性症とは?』が始まる。スライドを駆使した講演は解りやすく、改めてこの難病の恐るべき実態を認識する。質疑応答では最近発症した父親が息子の発症を恐れて対応策を問うなどの切実な質問があった。

植村力子Lより安達教授への謝辞。「わたしは初めてキャビネットの女性役員として盲人福祉のお手伝いをさせていただくことになりました。安達先生、小野塚会長、そして私、女性三者が巡り会ったことになります。333-C地区を出発点として、RPへの支援の輪を大きく広げ、治療法の開発と、患者さんが安心して生活できる社会環境づくりのお手伝いをして行きたいと願っております」と述べられた。

千葉大学眼科の吉野婦長さんから小野塚会長への激励の花束が贈られ第一部が終る。

ほぼ満席の会場には名古屋大学・三宅養三教授、国立身体障害者リハビリセンター・梁島謙次先生などの遠来の方々のお顔も見受けられた。

第二部のアトラクションは中国の伝統民族楽器の演奏で、胡弓と提琴により『さくら変奏曲』等8曲が華やかに演奏され会場は和やかな空気に包まれた。

名残尽きない盛り上がりの中に定刻の15時半終了となる。患者理事から口々にライオンズに対しての感謝と信頼の言葉が述べられるのを聴きながら今後も一層の奉仕を胸に誓い散会した。

←左より
支援者(地区視聴力保護・言語障害・盲人福祉委員長)
L. 植村 力子
患者(JRP S会長)
小野塚 有可さん
研究者(千葉大学医学部眼科)
安達 恵美子教授



提 言

ライオンズのリストラ

地区長期計画・指導力育成委員長 L. 邊辺 瑞男



1995年11月に行われた第2回キャビネット会議の資料に、複合地区委員長会議の議事録の抜粋を報告した。

すなわち（1）合理化、簡素化、冗費の節約と（2）指導力育成問題である。

このことについて複数のライオンから、かなりの意見をいただいた次第で、ライオンズクラブの改革はC地区からと結んだ所以はどこにあったか、2・3点にしほって再度提案を試みたい。

（1）の問題のなかで合同事務所をせめてゾーン単位で検討してみては、と提案したのだが、（A）いったい誰が音頭をとるのか。（B）合同の事務所だと単位クラブの個性がなくなる。（C）例会場と事務所が遠くなつて不便である。などの意見をいただいた。

一応尤なご意見であるが、（A）については、Z Cを中心に各クラブの会長、幹事、会計などの皆さんでご検討なさってはいかがだろうか。（B）については、合同例会、合同の委員会まで一緒にといつているわけではないので、単位クラブの個性が失われるようなことはないと思慮する。（C）については、今まさにマルチメディア、インターネットの時代、文明の機器を備えれば、車を駆って事務所通いなど無用の時代なのである。

（2）の指導力育成については、ワンダー国際会長が特に強調（林ガバナーも同様）されており、本年度より国際協会に「指導力育成委員会」が設立されることになった。

これを受け、複合A、B、Cの各基準地区にも、この委員会の設置が必要であること、単位クラブにもこの委員会が設置されている例は少ないが、将来設置することが推奨されるであろう、という2点について複合地区年次大会で強調することとし、C地区にあっては、単位クラブ会長を中心にはじめに検討されることを提案したい。

バブル経済が破裂し、不景気のどんぞこにあえぐ今日、企業も、行政も従来の在り方を猛省し、企業にあっては、事業の再構築へ懸念の努力をし、行政にあっては、分割、統合地区分散化などの再編について真剣に取り組んでいる今日、ライオンズクラブとて決して例外ではない。

正に、リ・ストラクチャリング（restructuring）組織の再編とまでは云わぬが、ライオンズクラブ・リストラクチャー（LC・restructure）の時はすでに到来していると思慮するので、重ねて提言する。

1…合理化、クラブ運営の合理化、簡素化、合同事務所の設置、人件費の節約、などが考えられる。初期の頃は、会長、幹事宅が事務所であった。現在もそのようなクラブは実在している。

2…冗費の節約、諸会費の減額を断行し、会員の経済負担を軽減する。会費、会費以外の費用はみだりに徴収しない。以上の2点についてだけでも真剣に取り組み、長期展望に立つて検討していくことが、ライオンズクラブのリストラになるのである。

「いのちの電話」を支援しよう

第3回キャビネット会議に於て、地区青少年指導委員長L.藤原宏高より提案された社会福祉法人「千葉いのちの電話」に単位クラブの自主的な判断により、クラブまたは個人のACTとして支援するよう勧奨する事が採択されました。いのちの電話の活動趣旨とボランティア参加方法は下記の通りです。

〈活動内容〉

人と人のつながりが希薄になってきている中で、人のぬくもりを求めて悩んでいる多くの人がいます。「いのちの電話」は、そのような孤独の中で生き方に迷い、時には精神的危機に直面して援助と励ましを求める方と、電話を通して心を通わせ、よき隣人として支えあいたいという願いから生まれた市民ボランティア活動です。

〈参加方法〉

相談ボランティア：毎年4月ごろ募集します（20～64歳）。6月から週1回の講座受講のあと、対話研修・電話担当研修等、1年10ヵ月を経て認定されます。その後無報酬で、月2回の相談担当、月1回の研修があります、さらに、研修・財務・広報・事業などの仕事を、分担協力して行っています。

資金ボランティア：電話センターの賃借料や維持費、相談員の育成、研修、広報活動費、通信費、事務経費など、多

額の費用が必要です。多くの個人・団体・企業などからご援助いただいて運営されています。皆様がたのご支援、特に会員としてご協力いただけますようお願いいたします。

1. 会員 繼続してご援助いただける場合

個人会員 年額 1口=2千円（何口でも）

団体会員 年額 1口=1万円（何口でも）

2. 寄付 個人、団体を問わず、いくらでも結構です。

☆福祉事業へのご寄付は、税法上優遇されます。

法人の場合は全額損金扱いに、個人の場合は年額10,000円を超える分について所得控除になります。

お振り込みは下記へお願いします

千葉銀行県庁支店004（普）2115973

千葉興業銀行千葉支店111（普）6182171

京葉銀行本店080（普）8897411

千葉信用金庫本店01（普）0580786

郵便振替00110-0-366563

〈口座名〉社会福祉法人 千葉いのちの電話

理事長 日下忠文

〈加入者名〉社会福祉法人 千葉いのちの電話

社会福祉法人千葉いのちの電話

〒260千葉市中央区中央4-10-12

事務局電話043-222-4416

第15回千葉県高等学校弁論大会

最優秀弁論に橋本評平君

地区青少年指導委員長 L. 藤原 宏高

平成8年2月4日（日）千葉県労働者福祉センターにおいて、千葉県高等学校弁論大会が開催されました。

本大会は千葉県内の高校生が弁論を競う伝統ある弁論大会で、参加高校11校、参加弁士19人、招待弁士2人という大規模なものでした。

当日は多数のライオンズ関係者や高校生のご出席をいただきて会場は満席となり、皆弁士の熱演に感激した1日でした。皆様の弁論大会へのご協力に、主宰者の1人として厚く御礼申し上げます。

弁論は、まず高校生の弁論に先立って外国人の招待弁士による弁論があり、韓国人の趙誠順さんの「平和について」と題する弁論では、思わず平和の有り難さに涙がこぼれました。

高校生の弁論では、いじめ問題、環境問題などの今日の深刻な社会問題をテーマにした弁論もあり、感激しました。また、大いに考えさせられました。

最優秀弁論には県立君津農林高等学校の橋本評平君の「草刈る者の夏」が選定され、年次大会での発表をお願いすることになりました。

このような素晴らしい高校生の弁論を拝聴する機会を得て、また大会をバックアップできたことを、ライオンマンとして誇りに思います。



とっても便利。心づくしのメニューがいっぱい。



和風 松花堂 ¥5.000



和風 松花堂 ¥3.000



和洋 壱番膳「蘭」¥2.000

《ご予約のご注文はお電話、またはFAXで。》

配達は10個以上または¥10,000以上

■お弁当各種 ¥500より

仕出し料理・出張パーティー

■出張パーティーお1人様¥2,500より■

TEL[0474]66-2625,2633

FAX[0474]67-8653

●営業時間：OPEN8:00・CLOSED5:00PM

■その他、ご予算
ご希望により調理承ります。



仕出し料理
アサヒヤ

船橋市高根台3-8-15

献血

第4回地区献血推進研究会

地区献血・献血・献腎推進委員長
L. 鈴木 行正

去る1月25日(木) ホテルスプリングス幕張にて、第4回地区献血推進研究会が開催されました。午前11時開会、林地区ガバナー挨拶、日頃の献血奉仕活動の労苦に対して謝意が述べられる。片桐血液センター所長よりは献血に対する理解と協力についてお礼の言葉があり、続いて議題は下記の3点で「血液事業の現状について」「平成8年度事業について」「献血血液の使用について」とそれぞれの担当者より説明がなされました。次に私が「全国ライオンズクラブ献血推進研究会」参加報告。ビデオ映写「ちばフロンティア21優しい献血」を見る。

昇例発表、富津LC森田保健衛生委員長、船橋東LC野村献血福祉委員長による献血活動の有意義なお話しありがとうございました。「これから献血」と題しセンター技術部長の講演、そして活発なる質疑応答、参加者一同が献血奉仕活動の協力に惜しまない旨を確認して午後3時45分閉会しました。



当日の出席者はライオンズ78クラブ101名、赤十字血液センター15名を加え計116名の参加でした。皆様方のご協力により所期の目的を十分に達し成功裡に終わることが出来ましたことを心よりお礼申し上げます。

折角の良い研究会です。次年度よりは開催時期を年度始め(8月~9月)にせられるようご提案いたします。

2R・3R合同 オリエンテーション開催



オリエンテーション

2R・田中成章リジョン・チェアマン、3R・芳野幸男リジョン・チェアマンは、例年行われている「新会員を中心とするオリエンテーション」を1996年1月29日、合同で開催し新入会員のほかクラブ三役、キャビネット構成員等130名が参加し、次のような新企画で開催した。

まず、林静誠地区ガバナーが「リーダーシップ(指導力)の必要性」について①指導者としての責任、②将来の指導者を育てる③会員増加と指導力の發揮等について講演された。

つづいて、江畑耕作前地区ガバナーからは、1916年アメリカ合衆国シカゴで芽生えたライオンズクラブが全世界に広がり1995年現在177カ国に広がっていた「ライオンズクラブの歴史」について講演された。特に、太平洋の架け橋として人的交流に貢献した、千葉県勝浦出身の黒川直也氏の活躍、ライオニズムの原点についてもお話しされました。

第2部は各クラブからライオンズクラブについての質疑応答となり、・ライオンズマンとしての心構え・クラブのアクティビティについて・新入会員の増強方法、地区構成員等の役割、活動等について有意義なディスカッションが行われた。

2R・PR情報委員 L. 吉沢武
3R・PR情報委員 L. 山田三郎

第1回ライオンズカップ・ゴルフ大会開催

1月22日に開催予定だった第1回ライオンズカップゴルフ大会が雪のため中止となり2月5日(月)真名カントリークラブ(茂原市)で多くのライオンの参加を得て開催されました。当日はライオンの心意気で寒気団を吹き飛ばし天候に恵まれた絶好のゴルフ日和。グットショットの笑い、ミスショットの泣きこんなハズではなかった大叩き、大笑いの珍プレー続出。パーティーで成績発表があり楽しく和やかな1日でした。

優勝者

ライオンズカップ	L. 岩井 正一(印西LCC)
ライオンズシニアカップ	L. 出山 三男(八街LCC)
ライオンズレディスカップ	L. 磯部 カズ子(松戸中央LCC)
ガバナーズカップ賞	L. 林 一公(市川東LCC)
ガバナーズカップベストグロス賞	L. 保科 保(松戸東LCC)



薬物乱用防止

薬物乱用防止パンフレットが完成



地区薬物乱用防止、糖尿病教育委員会(委員長L.桑島功)では、かねてから制作中であった防止パンフレットを完成させ各クラブへ送付した。桑島委員長は、麻薬、大麻、覚醒剤、シンナー等の常習者は遊び半分でちょっとしたきっかけから虜となり大きな犯罪を犯す、このパンフレットを活用して犯罪の温床となる薬物を安易に使わせない、近づかさせないように一般の方々へも訴えて欲しいと述べています。

ライオンズクラブ国際協会 333-C地区 ライオンズカップ開催会場



自然との共生をめざして—— 今年10月、真名カントリークラブに新たに18ホールが増設されます

生命の森

日本エアロビクスセンター 0475(35)3333
真名カントリークラブ 0475(24)5211

心の旅路

1984～1985 元地区ガバナー L. 秋場 寛



1984年6月シスコの国際大会於てガバナーの任命を受けたのは丁度11年前のことであった。晴天の霹靂という言葉の様に上總一宮LCのメンバーより立候補の強い要請があった。この時から私の心の旅路が始まったのである。「愛の心で価値ある奉仕」のスローガンを掲げた。地区アクティビティとして未だLC地区にはない半永久的に残る価値ある財團を作る事であり、しかも4月の年次大会に設立したい。その成否は一にガバナーにあった。

ガバナー在任中一番悲しかった事はメンバーの訃報に接した時であった。メンバー一人一人を愛することがガバナーの任務であり、夢ではないかと思う。すでに彼岸の人になった親しい友人の御冥福を祈っている。

年表累積の法則によれば、「歴史は昨日の上に今日が作られ、今日の上に明日が生まれる」と云われる様に良いアクティビティは継続することに意義があると思う。

C地区メンバーの良識ある御協力に改めて厳粛なる敬意を表したい。



クラブのかび取りに専念した一年

1986～1987 元地区ガバナー L. 平井 勇

希望に燃え情熱を傾けて達成した我がC地区の創建であったにも拘らず、5年の歳月を至るに到り、ようやく通弊とも言う如きマンネリ化の兆しが随所に見え初めて来た時代のガバナー就任であった、大方の風潮が、運営については無難に諸行事をこなして事なき主義に経る。奉仕活動と言えば安易な目先だけの糊塗に止まる、此の様な軽薄な傾向が広がり、クラブ活動を自ら硬直させている忌はしい状況であった。そこで私は、地区の繁栄はその結合体である単一クラブが健全であるか否かにかかっている重大な基本理念から考察して、傘下各クラブを徹底して強化育成し併せてマンネリ化排除を遂行する決意をしたのである。即ち次の重点事項を示して躬行した。

1. 地区憲章の意義を理解して精進すること。
2. 「まごころ奉仕活動」の実践に努めること。
3. マンネリ化を打破して合理化を期すること。

惰性に流されると何時の間にか、かびが生える。精進する身にかびは生えない。共々に手を携えて研鑽しようではないかと、機会あるごとに地区内各クラブを説得して回ったことである。クラブ三役並びに各委員の特別研集会、ワークショップによる指導力養成集会等も再三にわたって強行した、組織がその発展を保持し更なる向上を目指すための急務に応え、考骨を引揚げて奮闘した行事を思い今昔の感に堪えぬ次第である。呵々。



出会いこそ人生の幸福

1985~1986 元地区ガバナー L. 橋口 一夫

人生は出会いと言われております。人は決して一人では生きてゆく事は出来ません。出会いによって、多くの知己をもつ事は、その人の人生にとって幸福であると、私は思います。私がライオンズと云う組織での出会いによつて、数多くの知己を持ち得た事は、私の人生の幸福であると感謝しております。1985年茂原市での地区年次大会に於て、地区の皆様の御支援により、地区ガバナーエレクトとして指名された時の責任の重大さと感激を今でも忘れることが出来ません。一宮へは数回訪問し、秋場地区ガバナー、吉野地区幹事、杉山地区会計始め内局の方々に親切極まりない御指導と励ましをいただきました。私共にとって、キャビネットの仕事は始めての経験でありましたから、右も左も分からぬ私共は大変心強い思いを致しました。之もライオンズを通しての出会いによるお陰であります。次に今は亡き元地区幹事L池澤との出会いも忘れることが出来ません。キャビネットの内局や構成員の選定、年間行事日程等、地区の数々の運営について、地区運営委員長として御無理なお願いをして御指導を戴きました。私が地区ガバナーとしての責務を全うする事が出来ましたのも、L池澤との出会いと、献身的な御指導、御協力があったればと、感謝しております。私が尊敬し、誇りに思う生涯の盟友の一人であります。思い出すのは、やはり今は亡き方々で、ライオンズに関して知らない事はないという程の知識人で国際感覚にも優れ、将来は国際会長にもなられたであろう元地区ガバナーL吉原稔人。冷静緻密で、しかも情熱家であったL中村清成。L高木仙吉、L松本良夫をお供に黄門然して大人物の風格があったL茂田正己。非常に温厚な紳士であったL森野銀一郎。地区の発展の為に、もっともっと健在であつて欲しかった方々です。地区年次大会では、地元ホストクラブを始めリジョン内各クラブの献身的な御協力により銚子での素晴らしい大会を開催することが出来、参加各々にも充分満足されたことと自負しております。又当年度は周年行事の多い年であり、各クラブの友愛溢れる記念式典に参加させて戴き、大変な歓迎をうけた事も懐かしい思い出です。私が地区ガバナー在任中や、その後のライオンズライフに於て、お世話になった数多くのLの方々との出会いと思い出は、私の人生の誇りであり、私にとっては輝かしい勲章であると思っております。



車を買う時・売る時・なおす時

シンドバッドニチドー[®]
DREAM ADVENTURE & SUCCESSFUL COMPANY

車のことなら何でも
お気軽にご相談ください。

フリーダイヤル
0120-36-8333

全メーカー新車、中古車販売・整備・保険・カーリース
AUTOZAM・ランチア・シトロエン・プジョー正規代理店

株式会社 日動自販

- 本社ジャンボセンター
- ・オートザムニチドー船橋
- 民間車検指定工場

〒274 船橋市飯山満町1-193 ☎0474-26-3000
〒273 船橋市駿河台1-16-10 ☎0474-25-3613

結成会

5 R・1 Z

市原東ライオンズクラブ

市原東ライオンズクラブはスポンサークラブで市原南ライオンズクラブのC N 3 0周年の記念事業ACTの一環として、昨夏以来推進して参りましたが昨年末17日結成会を挙行することが出来ました。顧みて昨夏7月下旬猛暑の中EXT委員会を開催、キーライオンの選定及びEXT委員と共に準備会を組織しての程々進展策を思案、8~10月チャーターメンバーの招請に努めると共に地区EXT委員長等のアドバイスを拝聴し、結局新メンバー30名及び在籍メンバー4名の34名を確定、11月1日以降所定の説明会及び模擬例会を重ね12月17日結成会を挙行した次第であります。当日は師走の最中でしたが稀有に好天に恵まれスポンサークラブの例会において、林地区ガバナー以下CAB役員7名、来賓に市原市長及び同市議会議長並びにブラザークラブ6クラブ18名にスポンサークラブ等を含め約130名の参加を得て所定のセレモニー及び祝賀を厳粛且つ盛況裡に無事終了させて戴きました。誠に有難うございました。尚今後共お願い申し上げます。

幹事 L. 御園生 孝

市原東ライオンズクラブ結成会式典



6R・2Z

佐倉中央ライオンズクラブ

1966年佐倉ライオンズクラブ結成以来、30年常に新しい仲間を増やそうと、この数年会員一人一人の努力が結び、佐倉の志津、ユーカリヶ丘地区に、佐倉中央ライオンズクラブ（会長L. 本川真澄 会員数33名）が誕生し、去る1月24日勝田台ロイヤルグランドホテルにて盛大に開かれました。記念式典には、渡貫博孝市長を始め、国際協会333-C地区ガバナー林L、地区役員、近隣プラザークラブ関係者多数が列席、結成までの足跡を振り返り、今後の飛躍を誓い合いました。

スポンサークラブ 佐倉ライオンズクラブ
幹事L.高石 弘



船橋さざんか ライオンズクラブ

船橋さざんかライオンズクラブ（会長 L.今野明美 会員数37名）は去る2月17日（土）ホテルサンガーデンららぽーとにて船橋ポートライオンズクラブのスポンサーにより地元、大橋和夫船橋市長初め地区ガバナー、地区役員、多数のブロザークラブの方々の出席のもと、認証状伝達式が挙行されました。9月23日に結成会を行い、千葉県二番目の女性クラブが元気よくスタートを切った訳で御座います。

寒風にも負けず可憐に咲く花「さざんか」は船橋の市花であり、逞しさと優しさを常とし、会長スローガン「きめ細やかな奉仕の輪」を咲かせ、その輪を広げ「ライオニズムの研鑽につとめ奉仕活動に精進する」と厳粛な中で宣誓致しました。祝宴に移り会員各位の心のこもった手作りのアトラクションがあり、盛大な内にメンバー各位の同志交流と友情を深め、感動あるチャーターナイトが開催されました。



レオ複合研修会

333複合地区レオクラブ合同研修会

船橋中央レオクラブ幹事 飯塚 和利

各地区のレオクラブメンバーがそろい、盛大に行われた合同研修会は大成功であったと思います。特にレオクラブメンバー同志の交流は、今までにはないスピードで深まったと思います。

普段、式典や懇談会などで会ってもお互いの情報交換や相談ごとなどは、限られた時間の中でしか話すことができず表面的なつき合いになっていたのを、今回の合同研修会で朝まで語り明かすことにより本当の意味での仲間ができたと思います。

今後、この合同研修会で得た仲間と共に、素晴らしいレオクラブをつくり、ボランティアに励みたいと思います。

最後にこの合同研修会を企画していただいたライオンズクラブの方々に感謝いたします。



レオクラブ 結成会

4R 3Z 八千代東レオクラブ

生みの苦しみと言う言葉が有りますが、私が以前病院に勤務していた頃、外科医であった為時々産婦人科から手助けしてほしいと頼まれていた。その時いつも思った事は妊婦が出産後、『子供は五体満足ですか』と聞き助産婦が『五体満足で元気な御子さんですよ』と聞くとあんな辛い思いをしたのに直ぐに安らかな顔になりました。御子さんをつくろうと思い出産までの長い悩みや苦しみがこの一言で忘れる事が出来たのであろうか。

今回レオクラブの結成までには色々あった。特に三年前レオクラブを結成しようと思った時はライオンズクラブ自体完成されておらず話だけで終わってしまった。12月23日結成式でレオ顧問 L瀧野勝年の結成経過報告で林静誠ガバナーが、青少年育成とレオクラブの倍増を目標とされ、我がクラブ会長 L有若茂がこの目標に共鳴されレオクラブ結成に動きだした。しかし不安（結成会ができるのか）心配（レオ会員が集まるのか又レオクラブが持続できるのか）等悩みがつきなかった。ライオンズクラブ会員の皆様の協力によりどうにか26名のレオ会員を集める事が出来結成会を迎えた。結成会が終わり御来賓の皆様に『おめでとう・立派な結成式でした』と言われた時は全身から力が抜け、頭の中が空っぽになり、きっと出産後の母親の様な顔だった事と思う。

ガバナー祝辞の中に外国の会員が入会しているのはめずらしいとの事、我々ライオンズクラブのチャーターナイトの時でも女性会員が3名おりめずらしいクラブと言われた。戦後日本の教育で明治・大正までの歴史は教えられるが、昭和になると急に内容が貧弱となり特に戦前・戦後については教えたがらない様で、世界から取り残される子供教育をしているのではないだろうか。諸外国、特にアジアの人達から日本を偏見視されるか、もっと日本人が世界に向かってリーダーシップを發揮する様にと言われても、決して仲間意識で言っている様には思われない。八千代東レオクラブは異色な感じがするが、これから日本を背負って指導力を得るには良い環境ではないかと自負しております。現在は15才から28才までのオメガ会員で構成されているが、今期、幹事を引き受けている脇本さんが早くもアルファ会員の入会を希望されているので、早期にアルファ会員も入会させる事が出来ると思っている。

又会長のカルプ・シェルバ君は国際感覚が有り、日本人的な考えをも持ち合わせておられるので、外国の仲間と共にレオ会員を立派に引っ張ってくれる事と思う。我々スポンサークラブも皆様の御指導・御協力を戴きながらレオ会員をどの様に育成するか、常に勉強してじっと見守って行く所存である。

八千代東レオクラブ結成準備委員長

L. 古田 正武

3R 1Z 印西レオクラブ

333C地区内9番目のクラブとして、印西レオクラブが、15才から27才まで22名が結集して1996年2月24日印西ライオンズクラブのスポンサーで誕生しました。

結成会でガバナー L林静誠のあいさつに「夢を持って行動しよう。自分の意思で目的を持ってガンバッテ下さい。」とレオメンバー一人一人と握手をかわし、それに答えて初代レオクラブ会長北島英一君が「自分たちの頭で考え、自分たちの意思で決定し、自分たちの体を使い物事を解決する力を養って行くことだと思います。自分たちに何が出来るかを皆で一緒に考えることから始めたい。」と力強くあいさつをしました。

芳野リジョンチエアマンの発声でジュースで乾杯し楽しくサンドイッチをつまみながら和気あいあいの内に結成会を終了しました。



台湾雲林縣LCとの締結20周年記念公式訪問の旅

JRIZ
下総中山ライオンズクラブ



晩秋の11月17日、現地時間12時に高雄空港へ我がクラブ員20数名着陸いたしました。空港では雲林縣LCの大勢の会員の出迎えを受け、バスにて雲林縣斗六に向かいました。街路樹にはハイビスカスやブーゲンビリアも咲いており、三毛作の稻もたわわに実り、バスの中から眺めも楽しんでいるうちに斗六に着きました。

その日は丁度例会日と重なり、雲林縣LCと下総中山LCとの姉妹締結20周年記念の御祝いが、緊張とユーモアの中肅々と行われました。その後、歓迎パーティには雲林縣LCの奥様方も多数参加され、以外にも日本語でのカラオケ交換会などが飛びだし、雲林縣LC70名の会員の心遣いが胸に染みる程感じ取ることが出来ました。

次の日からはバスで合同旅行ということで、前日のお酒の入りすぎた人、寝不足の人もおられたでしょうが、二日間バスにて民族村や台北市内等を見学させていただき、中国の文化を肌で感じ、やはり歴史的に大先輩の国であることを再確認した次第であります。訪問最後の夜、台北にてさよならパーティーが催され、連日つきっきりで接待して下さった雲林縣LCのご苦労には頭の下がる思いでした。

天候にも恵まれ、よく食べ、よく飲み、よく歩いた中台湾クラブの皆様とも肩を組んだり歌を唄ったりして、友情を分かち合い、ライオンズクラブ同志の交流を深められたことの意義は大きいものであったと、帰途の飛行機の中で話し合ったものです。今回の訪問には御婦人方の参加もあり、我がクラブ員同志の家族的おつきあいも深められ、意義ある台湾公式訪問になり、参加くださいました皆様に心より感謝する旅となりました。

下総中山LC 会長 L 斎木 光雄

JRIZ
市川北ライオンズクラブ

少 年 野 球 大 会 女子フットベースボール大会 を開催



第16回少年野球大会は33チーム参加。10月22日に開会式が行われ、その間ゲームは日曜日ごとに行われ、11月19日の閉会式までメンバーも多忙でした。



第16回女子フットベースボール大会が43チームが参加。10月29日開催した。朝9:00の開会式に始まり夕方の閉会式まで熱戦が続きました。

1R 2Z
行徳ライオンズクラブ

少しの知識と行動が生命を救う 赤十字救急法講習会

平成7年11月の(土)(日)の4日間、日赤救急法の講習会が行われ30名受講者の内28名が合格証を取得した。昨年より行徳LCのACTとして催されたこの講習会は大きな反響を呼び遠方から多くの参加者があったが今年度は地域優先と云う事で、行徳地区の在勤者を対象に募集したが、わずか3日間で30名定員をはるかに超える申し込みがあり一般市民の関心の高さをうかがわせた。講習の内容は心肺蘇生法、止血法、包帯法、固定法などで3日間は朝9時から夕5時まで講義、実技でびっしりのスケジュール。最終日は実技と筆記試験もありかなり本格的。それだけに得るところも多く3人の助役と共に休暇返上で受講した営団地下鉄の行徳駅務区長は、「駅では病気、ケガなどいろんな事が起きますので習った事がすぐにでも役に立ちそうです」この感想文と共に、写真などを小冊子にする事も企画している。

幹事 L. 野地 勝



2R 1Z
松戸中央ライオンズクラブ

どうです 大収穫いもほり大会

松戸養護学校生徒を招待して恒例の「いもほり大会」を10月16日、石橋農園で実施しました。ご覧の通りの大収穫でみんな大喜びでした。



いも掘り準備のため、3日前から“いものつる”を刈り取るメンバー。



クラブ活動レポート

2R 2Z 流山ライオンズクラブ

夏の終わりを告げ、初秋の晴天に恵まれた平成7年9月13日に大利根チサンカントリー倶楽部において、流山ライオンズクラブの総力をかけてチャリティーゴルフを開催いたしました。世の中の情勢が厳しいおりでしたがメンバー各位の情熱と各クラブの助けにより、参加人員202名を集めて成功の内に終わる事ができました。

皆様方の厚い奉仕により、収益金百数万円を預からせて戴き、当初予定の老人福祉へイージーケアテーブル2卓・イージーケアワゴン1台を流山初石苑に寄贈する事が出来ました。
— ウィ・サーブ —



チャリティーゴルフ収益金で
イージーケア・テーブル
イージーケア・ワゴン を寄贈



会長より流山初石苑にイージーケアテーブル、及びイージーケアワゴンの目録の贈呈。

芹洋子チャリティーショーに長い列

10R 1Z 柏中央ライオンズクラブ

すぐれた童謡というものは、長い人生に2度あらわれる。1度目は子供時代の歌として、2度目は大人になってからの歌として。

つまり子供時代は、遠きにありて唄うものであっても、帰るところはない。人は子供時代を唄うことによって、自らの現在地を確かめる童謡は大人の中に蘇ることによって、初めて人生の唄としての値打ちを獲得するものだと、今は亡き寺山修司は言っている。

今回、芹洋子ショードが大きな感動と成果を上げた背景には、寺山修司が言うところの人生の唄として、聴く者的心を揺さぶったことにあったと言つてよい。

晩秋の11月18日。会場の柏市民文化会館には開演の1時間前から長いファンの列ができて人気の高さがうかがえた。

開演は6時。白いドレスで登場した芹洋子は、軽妙な話術で観客と一体感をつくりあげて、にほんの歌・ふるさとの歌を熱唱した。前半では柏市民合唱団との共演もあってメリハリのあるステージとなった。

今回の実行委員長を努めた鈴木稔委員長は「当初、芹洋子だから大丈夫と思っていましたが、入場券の販売などに一抹の不安がありました。しかし、それが杞憂に終わったのはみなさまのおかげです」と語っている。

入場者数は1530名。収益金は276万円を超えた。

◎収益金は下記へ

- 1、千葉県アイバンク協会
- 1、千葉県青少年育成基金
- 1、市立柏高等学校吹奏楽部



白井町福祉 サマースクール

4R ZZ
白井ライオンズクラブ



白井ライオンズクラブも早いものでもうC Nから4年5カ月が過ぎた。4代目江口会長はライオンズクラブ活動の原点は例会にあると考え、スローガンに例会の出席率の向上を第一に掲げられた。

「和を以て尊しとなす」。相互理解による団結こそが奉仕活動の大いなる原動力だと信じます。相手を理解し尊重して、認め合うことは福祉の理念でもあります。
相手を認めてあげる事は優しさと思いやりです。

その「優しさと思いやり」の心を福祉活動を実際に体験することで、子供達に持つて貰おうと白井町福祉サマースクールが今年も開催された。

これは白井町福祉協議会が主催し、白井ライオンズクラブが協賛しているもので、今年からは何人かのクラブメンバーも参加した。

長い梅雨が明け記録的な猛暑のはしりとも言える暑さの7月24日から5日間、中高生38人が感動と驚きの汗を流した。

詳しくは福祉協議会発行の機関紙「ふくし白井」より許可を得て転載させて戴く。

奉仕活動というものは相手があってこそ初めて成り立つ。

地域の人々と交流し、そのニーズを掴んだ上での奉仕活動が望ましい。

昨年から町の「ふるさとまつり」のバザーに参加している。資金獲得のためよりは、むしろ地域へのPRに重点を置いた為、会員が総出で汗を流した割りには収益が上がらず、汗の代償はより多くの人と知り合えたことであろう。これは金銭には換算できないほどの収穫であったと思う。

「ふるさとまつり」の会場で献血活動も行ったが、まつりの会場という条件のためか今一つ結果が出ず終わった。これは今後の検討課題だと思う。

9R ZZ
房州朝夷ライオンズクラブ

よい木工教製品をつくって 中里ホームワークで技術指導

「私たちの持つ技術を使って立派な木工製品を作ってください」
房州朝夷ライオンズクラブ（会長 L.佐藤繁美）の有志がこの程、精神薄弱者支援施設「中里ワークホーム」で技術指導を実施、同所では支援事業のひとつとして木工作業に取り組み、ベンチやイス、万能箱などを制作、販売している、しかし指導員がシロウトということもあり、なかなか専門業者のようにはいかないのが実情。当LCでは木工作業に関する会員の技術を指導員に伝授し、よりよい製品作りにつなげてもらおうと奉仕活動の一環として技術指導を行ったもの。この日は佐藤会長をはじめ塗装、建具、大工、木材の四業者が施設訪問し手とり足とりで指導した。



クラブ 活動レポート

7R 1Z 佐原ライオネスクラブ



佐原市社会福祉協議会に まごころアクト

佐原ライオネスクラブは結成以来のアクトとして地域の福祉活動に役立ててもらおうと、毎年年末に佐原市社会福祉協議会を訪問して10万円と古切手・古テレフォンカードのアクトをしております。今回の訪問日には、点字のボランティアの方々が出来上がったばかりの新年度の点字カレンダーを持参しており、其の仕上げまでの工程をお聞きして、優しさと根気の結晶に心が熱くなりました。これらの材料費の一部にも使われているこのアクトを今後も出来る限り続けて行きたいと思っております。



毎日が奉仕 11月、12月のアクティビティ



君津市主催、健康と福祉まつりにおいて、君津中央ライオネスクラブと合同で噌汁の無料配布を行いました。当日お天気にも恵まれ予定の300食を上回る500食の味噌汁を作り来場者に無料配布いたしました。大変おいしく評判でした。

11/11



ライオンズクラブと合同でライオンズの森の掃除を行いました。森の回りのゴミ拾い、大きく育った木の枝払い、芝刈り等で見違えるようにきれいになりました。

11/28



忘年会に於いて、会員持ち寄りの品物でオークションを行い事業資金として、43,000円獲得しました。毎回とても楽しみな行事になっています。

12/14



君津養護学校へ例年通り雑巾の贈呈を行いました。会員手作りの雑巾は学校でとても重宝されており、作る私達もお役にたててとてもうれしいです。

12/18



あゆみ園、あいじ園のクリスマス会に於いてロータリークラブ、ライオンズクラブの会員が扮するサンタクロースによるプレゼントが贈られ私たちネスクラブは贈呈のお手伝いと、職員の方に日頃の慰労にと1万円を贈りました。

12/22



レオ主催、ライオンズクラブ、ネスクラブの応援よりアピタジョイフルホンダ2店舗に於いて歳末助け合い募金を行いました。この日は、特に風が強く人出も今まででしたが、約2時間がんばり41,185円の募金を頂きました。12月26日（火）若月君津市長へ直接レオよりお金を渡し、ずっしり重い募金に市長より「この重さは心の重さですね」とお言葉を頂きました。

12/24

冬期Y.E生のレポートをお届けします。派遣生11名、受入生7名でした。

冬季Y.E レポート

見るものすべてが新鮮だったマレーシア

派遣先マレーシア

長谷川奈緒美（成東L.C.）



私のマレーシアの第一印象は、蒸し暑い国だと言うことでした。しかも、不安と緊張で胸がいっぱいでした。しかし、空港で”Naomi”と言う声がした時、私の心配ごとは消えてゆき、無事にホストファミリーにも出迎えられ、とてもうれしかったのを今でも鮮明に覚えています。私のホストファミリーはSubang Jayaという住宅街に住んでおり、両親に子供3人の家族でした。特に長女のTek Meiとは年も近く、姉妹のように親しくしてもらいました。とても素敵な家族で、ほとんど英語の使えない私に、優しくゆっくり話してくれたり、何度も説明してくれたりしました。それに、ステイ1日目の夜はぎこちないながらも英語を使い、夜2時近くまでTek Meiと話をしました。私もやればできるもんだなあと少しひっくりてしまいました。これなら2週間を楽しくすごせると、この時確信することもでき、いつの間にか心配なんてふっとんでゆきました。

マレーシアで過ごした時間は、本当に「あっ」という間でした。私の心に一番残っているものは「I.I.TOMODA CHI (Good Friends)」です。Tek MeiがLEOクラブに所属していることもあり、たくさんの友達を作ることができました。みんな明るく、楽しい人達で、クリスマスパーティーや買い物、ニューカラーズパーティーなどたくさんの行事に呼んでもらいました。また、LEOクラブのみんなが通っている公立の学校「S.M. Subang Vtama」にも連れていってもらいました。日本で中学1年から高校2年に値する学校でした。やはり1つの学校に5学年全部の教室はないらしく、1・2年は午後、3・4・5年は午前の部でした。そこで私はびっくりした事がありました。それは朝7：30に始まることです。眠い目をこすりながら行きましたが、行ってみると、とても興味深いものでした。それは1時間目が35分だったと思ったら、2時間目は60分だったりと、授業の時間がばらばらなのです。それに加えて、1時間ずつ教室移動もありました。私はよく把握できずに、ただただ人の後について行くばかりでした。本当に複雑で、よくこのしくみがわかるなあと感心していました。だから必ずもう1度マレーシアに行き、「理解してやる。」と心に決めた

ほどです。

他にもたくさん、たくさん楽しい思い出はあります。マラッカ、ゲンティンハイランド、クアラルンプール・・・。本当は、日本に帰りたくなかったほどです。日本に帰る日は空港に友達も見送りに来てくれ、思わず涙を流してしまいました。すると、「Don't cry!」「さよならは言わないよ。また会うんだから。」と言ってもらったときは、本当にマレーシアに来てよかったなあとと思いました。だからまた絶対にマレーシアに行くつもりです。今回、Y.E生として、マレーシアに行き、私の人生を変えるほどだったと思います。それに、貴重な体験をさせていただき、ライオンズクラブの方々には本当に感謝しております。今後、将来につながることができればいいと思います。

マレーシアの結婚式

派遣先マレーシア

鵜沢朋子（成東L.C.）



私がステイさせていただいた家庭はクリスチャンでした。ちょうどクリスマスのシーズンだったせいもあり、いろいろキリスト教的な体験ができておもしろかったです。例えば食事の前の祈りや教会で歌を歌ったこと。無宗教の私にとってはなかなか新鮮でした。

ホストの家庭は、マレーシアの首都クアラルンプールの中心から、車で40分位かかるところでした。ホストファザーは日本に来たこともある人で、日本の車の会社とビジネスをしています。ホストマザーはクアラルンプール市内で、食堂を経営しており、二人ともとても多忙でした。子供は4人です。（10才の子から1才半の子）。

短大での私の卒論のテーマが「マレーシアの結婚式」だったのでいくつかの結婚式に連れて行ってくれました。多民族国家マレーシアは仏教、イスラム教、ヒンズー教、キリスト教など宗教もいろいろです。そのうち私はキリスト教、イスラム教、仏教の結婚式に出席できました。ヒンズー教は雨期の季節には結婚式をあげないそうで、寺院を訪ねたのですが見ることができませんでした。

多忙の中、2週間のステイのうちに、いろいろなマレーシア文化を体験させようと、小旅行（ペナン・マラッカ）に連れて行ってくれたり、毎回ちがう種類の食事にしてくれたり、本当に恐縮してしまいました。マレーシアの食事は本当においしくて、太りました。（これが唯一今回悲しか

冬季YE レポート

ったこと)。安いいろいろな種類もあるし、おいしいし、食事はバッチャリでした。

1番うれしかったことは、私のマレーシア人の友達に再会できました。ホストファザーの好意で、彼女も何日か一緒にステイしました。帰る日の前夜に、明け方まで彼女と語りあったことは一生の思い出です。

マレーシアは前から好きだったけれど、今回もっと大好きになりました。将来マレーシアで暮らそうと思います。

ホームステイを終えて

派遣先マレーシア

関さやか（大網白里LC）



私は昨年の夏に、担任の中村先生から、今回のお話を聞きました。初めは、軽い気持ちで返事をしましたが、出発の日が近づいてくると、不安と期待が高まり始めました。英語のニガテな私は、初めての海外・初めてのホームステイに、とまどいがあり、話しかけたいと思っても、言葉がわからない為、自分から話しかけることが出来ませんでした。しかし、ホストファミリーのみなさんをはじめ、みんなとても優しく、私が理解出来ない言葉等は、辞書をひいたりして教えてくれました。

マレーシアでは、たくさんのお寺に連れて行ってもらいました。日本と違うなと思ったことは、マレーシアのお寺は、とてもカラフルだな、ということでした。最初は、早く帰りたいと思っていたが、今はまた行ってみたいなと思っています。日本に戻ってから、マレーシアから来ているという二人に会いました。

二日後、彼女達は私の通っている高校に来て、二日間一緒に授業をうけたり、お弁当を食べたりしました。友達は、言葉（英語）がわからないからと言って、あまり話はしませんでした。私は、文法等は全然わかりませんが、単語だけでも通じると、マレーシアで経験してきたので、話しかけたり・かけられたりと、二日間とも楽しく過ごしました。英語と聞くだけで、ニガテ意識を持ち、オロオロしていましたが、今回のホームステイをきっかけに、英語も一つの言葉なんだなと思えるようになりました。また、英語だけではなく、自信や度胸もついたと思っています。

とてもすばらしい経験をさせていただき、ありがとうございました。

留学15日間の生活

派遣先マレーシア

中村健司（大網白里LC）

12月21日、ついにこの日が来た。私は、うれしい気持ちと不安の気持ちでいっぱいでした。特に不安の気持ちが強かったです。私は英語が得意ではないのでマレーシアの人達とうまくいくかな、と強い不安を感じました。そして、マレーシアに着いてホストの家族に会うと、いきなりにも英語で話しかけられるので、頭がまっ白になり混乱しました。しかし、慣れたら安心して話せるようになった。今日から15日間マレーシアの文化を多く知り、今後の勉強の参考にしようとを考えました。しかし、マレーシアの文化は思っていた以上でした。一つは寺院。とても大きく、広く、そしてとてもきれいであること、街はきれいで海もきれいでした。街は、バタフライハウス・タワー等、とても面白い名所に行きました。私は、マレーシアに感動しました。文化、環境日本とは違うことからマレーシアが好きになり、もう一度マレーシアに行きたいと思いました。今では英語で話すのも慣れた私は、家族と楽しく話せるようになりました。そんな時、私はこう思いました。

「人と人はわかり合えるんだ。」相手が外国人だろうが同じ人間なんだから、言葉はなくても通じるということを感じました。時々、家族と一緒に買い物に出かける時があり、服などを買いました。マレーシアに来て得なことは、品物が安いことです。だから安心して買うことができました。マレーシアに滞在していた時、マレーシアにいるんだという実感がなく、時差ボケをしていました。今、日本に着いてこの作文を書いています。その時、マレーシアを思い出します。それは、とても懐かしく、とても素晴らしいかった、と思っています。でも、2、3年したらまたマレーシアに行こうと思っています。そして、他の国にも興味を持とうと思います。私は、冬期派遣生としてマレーシアに留学できたということに、ライオンズクラブ、先生、家族に大変感謝しています。もし、この留学がなかったら、ただ勉強というプレッシャーに負けたかもしれません。でも、この留学で私は何かをつかんだような気がします。私は、マレーシアに行ってよかったですと自信を持って言うことができます。その気持ちを大事に、頑張っていきたいと思います。留学15日間あつという間に終わったけど、マレーシアにはとても感動しました。最後に、ライオンズクラブのみなさん本当にありがとうございました。

オーストラリアで感じたこと

派遣先オーストラリア 藤井美樹（君津中央L C）



オーストラリアでの18日間、私はとても充実した日々を過ごすことができました。またたくさんの貴重な体験をすることができました。たくさんの体験と思い出のなかからわざかですが、ここでお話をしたいと思います。

私が滞在させていただいた家族は、4人の小さな子供のいるにぎやかな家庭でした。とても人なつこい子供達で、子供のなかから学ぶこともたくさんありました。他のY E生の方々で、小さな子供のいる家庭に滞在した方は少なかつたようで、私はオーストラリア人の教育の仕方も、見るこ

とができたように思えます。またホストファザー・マザーとも比較的若い方々だったので、夕食の後などにたくさん話をしました。私がわからないことでも手ぶりや身ぶり、辞書、資料などを使って親切に説明してくださいました。文化、食事、物価、宗教、恋愛など・・・。私は人種や言語が違っても、一生懸命にお互いを知ろうとすれば、知ることができるということを実感しました。そしてたくさん話すことによって、私の英語も良くなっていると言われたときは、とても嬉しかったです。私の英語を理解してくれたホスト・ファミリーやCrows Nestの皆さんには感謝しています。私は何事にも挑戦した方が、何倍も楽しめるということを強く感じました。

また、良いホスト・ファミリーに恵まれて、幸運だったと思っています。これからも連絡がとだえないようにしていきたいです。

最後に、このすばらしい機会を与えて下さったライオンズクラブの皆さん、関係者の方々にとても感謝しています。ありがとうございました。

地区PRセミナー・アンケート結果

◎本日のセミナーについて	良かった	47	普通	52	普通と悪かったの中間	1
◎今後、このようなセミナーは必要か	必要	82	不必要	13		
◎クラブの会報は年何回発行していますか	1回	14	2回	31	3回	13
	6回	4	12回	7	24回	1
◎ページ数は	1~6頁→36		7~16頁→31			
	17~29頁→9		30頁以上→11			
◎大きさは	B 4→12	A 4→44	B 5→28	その他→3		
◎ライオン誌について	良く読む	28	まあまあ読む	89	読まない	4
◎地区ニュースについて	良く読む	41	まあまあ読む	77	読まない	2
◎地区ニュースを会員数の他に10部前後余分にお送りしておりますが、多くの人の集まる場所に配布して頂いておりますでしょうか。	配布している	61	配布していない	45		

地域社会へのPRの重要性というテーマの今回の湯沢明先生の講演でしたが、出席したライオンからも、地域の人々にみえる形でのアクト、コミュニケーションの大切さ等の意見が多くよせられました。また、ウィサーブの精神はことさらPRすべきではなく深く静かに活動してこそ価値があるとの意見もありました。いづれにせよ、ライオンズクラブが何をしている団体なのかを知っていただく必要はあるのではないかという考え方から、今年は「地区ニュース」を地域内の多くの人の集まる場所に置いていただております。そして、何より私たち会員が「ライオン誌」「地区ニュース」クラブ会報誌等をよく読み、ライオンズクラブの活動の様子、意義をよく理解する事が第一かと思います。

私がガバナーになつたら

明るく
樂しく
語ろう！

私がガバ



松戸東ライオンズクラブ L. 青木 孝

「今度のガバナーは、地区内全クラブの事務局を廃止するんだって。クラブの花の事務局員さんがいなくなるのは残念だね」

「そうさ、事務局はゾーンで1か所になる。各クラブの事務所が大幅に減少するよ。ゾーンの事務局にパソコンを入れて、各クラブの事務や会計を全部処理し、各クラブや会員にフィードバックするのだ」

「今どきパソコンの能力を活用しない方はいないよ」

「そうだ。近いうち各クラブに1台づつと、CAB事務局に大型コンピューターを入れて繋げば、CAB事務局で各クラブの事務処理ができるようになる。銀行でやっていくようにさ。それにCAB構成員も大きく減少できると思う。CABの経費節減だ」

「全世界の各クラブがパソコンのインターネットで結ばれたら至極便利になるね。特にYE生の受け入れ派遣はスムーズにいくだろう。ところで誰がパソコンのキーを叩くんだね」

「そこまでは考えなかった。できる人に会員になってもらうさ」

「僕はね、地区メンバーから各方面の知識人や技術者を100名集めて、国際ボランティア活動をする。パパアニューギニアに半年間派遣して、経済開発、教育、街作りの指導をさせるんだ。地区ACT資金2億円を持たせてやりたい。学校や病院の建設もあるのだろうから」

「そうすれば、ガバナーは秋の叙勲で勲章が貰え、宮中の園遊会に招待されるよ」

「ライオンズクラブが、永年、規模の大きな奉仕活動をしていても、主務官庁がないから叙勲の推薦母体不明なのだ。残念だが国際会長のアワードだけだね」

浦安シーサイドライオンズクラブ L. 池田 治郷

世界の巾「日本」の位置づけが、すべての分野に於て、現在ほど再評価されているときはないと思われます。政治、経済、文教、芸術、スポーツ、国連外交、などなど、それぞれの分野に於て、新しい認識に基づいて判断されるべきであろうと思われます。

各地域の選ばれたオピニオンリーダーとしての、ライオンズクラブでも勿論例外ではありません。

上記の観点から次の事項につき提案させていただきます。

※国際理事の3名増加

国際本部・日本本部のモラールの向上。世界第2の会員数、国際貢献度と相応させることにより一層のはげみになる。

※Z.C以上の役職の個人負担金(ポケットマネー)の軽減

ガバナーになれば￥000万かかる!!では絶対にダメ
※1クラブ70~80名以上のクラブは分割する
運営マンネリ化防止、メンバー若返り促進、会長・他役員の増加

※メンバーの数と質の向上
ライオンズクラブの会員増強は永遠のテーマであり歴代のガバナーが強く言われていることなのだが…
現状ではサラリーマンは加入しにくい。若い人(30~50歳)は敬遠する。集会費用・集会時間・年会費に問題あり。

※活性化をはかる
TOP役員の定年制を採用する。寄付金集めに比重をかけない。

真のボランティア(奉仕)活動に重点をおけば賛同者は若い人に多い。

※Z.C以上の役職の順番制廃止
現状ではゾーン別・クラブ別の順番制のしきたりとなっている。

立候補又は推薦制により選挙をする。

※ライオンズクラブの認知をする
日本クラブ認知で運営されているが、国際クラブ認知になっていないので活力はない。

※シニアクラブを独立させる
スポンサークラブとライオンズクラブの位置づけと同じクラブにして独立させる。

現クラブ(親クラブ)が若返る活力を得る。企画が変化していく。

シニアメンバーの負担(労力・奉仕・金銭奉仕)を軽減できる。例会も月1回ですむ。

〔総括〕

「粗にして野であるが、卑にあらず」
人間歳をとり、名譽に固執するほど、卑になるとは言われていますが、それから出来るだけ超越して、心の気高さを持った人生をおくりたいものです。楽しい志を同じくした友をたくさん持って、一生を終えたいと純粋に考えて行動をおこすことが大切であろうと思います。

さすれば…明日のライオンズクラブは明るく楽しくて入会申込み者がひきもきらない現状になるでしょう。結果メンバーブームの倍増は疑いあるべからず…!!
これをホラ吹きとするか?しないか…?!!



旭ライオンズクラブ L. 大阪 一夫

旭ライオンズクラブは本年度結成30周年を迎えます。そして記念事業の一環として、10月26日にアトランタオリンピック候補者、有森裕子さんを招待して、青少年育成を目的とする、第16回旭市民マラソン大会を開催し、ランニングを通して親子のふれあいや、地域の青少年にスポーツへの関心を高めることができました。今年の5月15日には、宇宙飛行士、向井千秋さんを迎えて「宇宙と世

その1

私が
ガバナーに
なったら

ガバナーになつたら。

界」について講演を載ることになっております。

さて「私がガバナーになつたら」…。ほら吹きは出来ませんが、前段の様な青少年育成へのセジエストを致したいと思います。私は世界に友人を作ることに今、力を入れています。'88ワールドカップ世界大会のジュリースタッフを行ったせいもありますが、海外一人旅も何度も経験するし、危険なことも何度も経験しております。故に今回のキャビネットの計画がチョット心配です。しかし海外に素晴らしい友を持つことに心からの喜びを感じております。何を言いたいかと言うと、今はグローバル社会であると思うことで、友人は何人も海外へ一人で出かけ、会議をこなす者が居ます。それらを見ると、青少年育成と共に我々も語学の勉強を致し、海外の友人から情報をいち早く頂くこと等したいものです。

旭ライオンズクラブへは2年前から英会話教室を開校していますが、第1にこれからは、全クラブに英会話教室を義務づけてはいかがでしょうか、そして、メンバー及びレディーと青少年を迎えての勉強は青少年健全育成へのチャレンジ・リーダーシップの育成にもつながると思います…。第2に日本人は読み書きは上手でも、話すことに慣れず苦手であります。そこで、グローバル化している社会で、外国のライオンズクラブとの交流、姉妹提携を結ぶことを義務づけてはと考えてます。ライオンズクラブメンバーで英語が出来る人はともかく世界の共通語にチャレンジを致しては…。

いずれにしても、私たちライオンズクラブメンバーはこれからが人生です…。

鈴木健二さんの言葉に、知識をたくさん持つことは人生を楽しくしてくれるもの…。メンバー・レディースの皆さんにはこれからますます海外出張、旅行等外国へ出向くことが多くなる事と思います。そのような時に、英語でトライをしては…

是非夢は実現したいものです。

神崎ライオンズクラブ会長 L. 大嶋 政雄

1. 無線の電灯及び電熱の研究開発

電気利用の無線化は、通信だけが実用化されているが、これを光及び熱の伝導に広げる研究を進める。

2. 雷エネルギーの蓄積技術の開発

雷が一面に落ちる時の放電量は、1軒の家(100W×3灯)×2300戸×8Hのエネルギーありといわれる、これを蓄えて使用する技術を開発する。

3. 潮流発電所の新設

フランスのサン・マロに潮位差発電所が存在し、年間5億4400万キロワット以上が条件とされる。これは潮の干満10M以上が条件とされる、日本の有明海は、5Mの潮位差でフランス式の発電は無理だが、鳴門海峡の潮流を利用すれば、150万キロワットのエネルギーがうず巻いていると推定され、関係電力会社と共同研究にあたる。

4. ガバナー用自動車の購入

ライオンズクラブが、外部からその本質を認識されていない実状にかんがみ、街頭においてWeServeの主張及び歌を披露し、また、各ライオンズに貸し出して研修、A C T に使用させる。

5. 各種の催しに名を連ねる

スポーツ、音楽、美術等の各種の主催あるいは後援に名を連ね、P R に努める。

6. ガバナー任期を2年制にする

多忙な毎日である、1年制だからあれもこれもと忙しい行事が多い、1年目に各クラブの意見を聞き、経験を生かして、2年目に計画し研修指導にあたる。

浦安シーサイドライオンズクラブ L. 折本 豊

'17年メルビンジョーンズの呼びかけで始まったライオンズクラブは現在、世界177カ国、会員約143万人を突破し、やがて会員500万人も時間の問題でしょう。

さて、グローバルな視点より世界を見た時、世界の何処で紛争が起こっており、こども達やお年寄りなどの弱者がいつも犠牲になっています。今、ライオンズに救いを求めているのは社会的弱者や地球そのものではないでしょうか。世界の紛争解決に向けた「国際連合」も強國の倫理や各国利害が複雑に交差し、宇宙人の地球攻撃でもなければ人類間の愚かな争いは終わらないでしょうか。

各国の利害代表でなく「友愛」と「相互理解」によって立つライオンズクラブこそが今後の地球在統の為のリーダーの資質を有すると言えます。

そこで、以下、将来あるべき姿を展開し、提唱します。

- ①人類の永久平和に向けた新スピリットを提唱します。
- ②人類生存へ向け、ライオンズボランティアを組織し国家間紛争解決に向けた具体的アクションを実施します。
- ③ライオンズの学習を個人から組織にチャレンジします。個人学習による評論家の輩出～組織学習にチェンジすることで、より明確な形でライオンズスピリットを実践します。組織学習は世界中の情報をメンバーが同時共有し、仮説－実践－組織学習の連鎖を繰り返します。

メンバーは行動を通じ、様々な出会いを体験し、地球を守る役割を担うべきです。例えば、地球に緑をという仮説に対し、各会員が「一人一本運動」を展開すれば、一夜にして何百万本もの緑を次代を担う人類に贈ることができます。仮説の実践が自然に行いうる為には組織学習へのチャレンジがどうしても不可欠なのです。ライオンマークには二頭のライオンが描かれています。一頭は過去、もう一頭は未来を見据えています。ライオンズの未来は、との問に対する答えは人類55億人の世界平和に向けた新たなリーダーシップの実践なのです。

私が
ガバナーに
なったら

明るく楽しく 語ろう！ 私がガバナーにないたら

光ライオンズクラブ L. 椎名 英夫

“長生きと幼ごは、社会の宝、世界の宝”
一エンゼル基金、H. シイナフェロー賞は後世に残る一
親クラブを吸収し80人のメンバーで、21世紀の記念すべき2001年のガバナーに就任する夢を、平成8年正月の初
夢として見るだろう。

国際大会では何故か判らぬ英語がペラペラ話せ、帰国後のガバナーとしての第一声を華々しく演説したい。

「この高齢化社会を支えるのは乳幼児である！この子達の20年後を見なさい。私達すべての人がお世話にならなければなりません。物言えぬこの子達は言わば弱者である。弱者を救おう！」

よって、本年度ガバナースローガンとして、“長生きと幼ごは、社会の宝、世界の宝”とする。

長寿社会を支えるためにも、本年度の活動は、(1) 乳幼児の育成 (2) 子育て支援 (3) 乳幼児の育成基金の創設、他の活動として (4) YE活動としたい。メンバー平均年齢の高齢化に対するクラブ内対策も重要な課題として取り上げ、70歳以上をプラチナ、50歳以上をシルバー、50歳未満をゴールド会員として分け、それぞれ会員の増強をしたい。“高齢者への尊敬”はどんなに時代が変わっても大切なこと。自らの長寿時代を考え幼ごに胸を張れる活動としたい。」

H. シイナフェロー賞はエンゼル基金として、メルビンジョンズフェロー賞と並び称して、世界に響き、後世に残るであろうと今から楽しみにしています。段々ガバナーがやれる気分になってきました。いっちょ、やってみっか！

九十九里ライオンズクラブ L. 鈴木 謹爾

若しガバナーになったらについて一言申し上げます。でも…私がライオンズクラブに入会したときは約30年前、親クラブの東金ライオンズクラブの結成式の準備をして居る時でした。私の大先輩の恩師であります飯高先生にある会合の席で東金にライオンズクラブが結成するので是非仲間になりませんかとの話をうけ私には何をするか分からなりままで同意してしまい早速翌日の夜先生の車に迎かえられられて出席しました。その頃は私は営業が非常に忙しい日々で出席には非常に困難でした。その後東金ライオンズクラブのチャーターナイトも済みほかクラブのチャーターナイトに先生と随分日曜日には出席しました。その時の感じはガバナーの存在又は地区役員の姿が異様な風に見えました。先ず私自身戦前戦後の目先だけにとらわれた生活に突然と世の中の風景が変わった。何故ならばガバナー、役員の服装と規律、私達の住む社会への奉仕の精神を使命とするクラブである事を知りました。その後はゾーンチャーマンの役割を頂き代々のガバナー方針にて社会の奉仕について色々と教えられました。又年代毎に方針が変わって来て今年度のガバナー方針も特に主張されるお言葉が変わりま

した、特に周年行事のやり方が違つて来ました。先日一宮ライオンズ30周年行事に出席しましたが運営の点で特に趣向を変えた方法で名士をお呼びしてのお話し、そして一般の方にも声をかけ又お土産には貴重な本を添えてくれて素晴らしい周年行事と思いました。これを決定するにはクラブ内の他クラブに向けての勇気とクラブの結束があったからだと思います。又一宮ライオンズクラブには秋場元ガバナーが居ります。この事が目に見えない大きな誇りとクラブの自信であります。それらが関連して率先してライオンズクラブが社会から益々尊敬される団体である事を認識される新しい灯りだと思います。そこで私は思いましたがクラブ全体の考え方、力、結束があったからだと思います。

色々な事を経験し又見て若し私がガバナーになりましたら、今日本で望んでいる事は人だと思います。明治維新以来立派な人の勇気ある活躍が今日の様な日本を世界に認められる様になりました。町としても偉人が欲しいです。知恵者が欲しいです。リードする勇気ある人が欲しいです。ライオンズクラブの奉仕を色々と行って来ましたが時代が刻一刻と変わって行きます。町、国を正直にリードする教養ある人物を望みます。これを育てたいです。この為には是非人に対する奉仕がこれからも使命だと思います。これを行うには色々と難しい問題があると思います。資金的にはゾーン又はリジョン内で協力して基金を作り学業育英資金として能力があつて学業に進めない人を助けるべきだと思います。私の方針は人を作る事の大奉仕をしたいと考えて居ります。

浦安シーサイドライオンズクラブ L. 鈴木 定雄

現在、メンバーの増強、退会防止、クラブの活性化についていろいろと工夫をこらし、努力を重ねているものの効果はいまひとつという状態のクラブが多いのではないかでしょうか。同種の他の団体と較べ、勝るとも劣らないクラブのステータスを確立し、誰もが会員となることを希望するような素晴らしいライオンズクラブにするための秘策をご披露します。

それは、ライオンズのACTを必要とする状況が生じた際に、かなりな額と労力の援助を即座に実施するならば、その善行をマスコミが取り上げ報道しPRしてくれます。現在のACTはクラブ単位で実施しているため、規模が小さくテレビや大新聞にとっては話題性に乏しい、従つて折角の行為もマスコミでは報道されません。

一方、国際協会にはLCIF基金が積み立てられており、支出には地区からの申請により判断し支出される仕組で、しばしば対応が遅れます。日本は基金拠出の割に還元される額が少ないように思われます。

そこで日本ライオン財団(We Serve財団)仮称を設立し、社会福祉、青少年育成、NGO、WHO等の事業や活動を援助するのに利用します。その財団は単位クラブだけに頼



るのではなく
広く世界の企業に
お願いする、企業とし
て独自に社会還元を行ってい
るものもありますが、それらの個別の
浄財をまとめ、人類愛の見地に立って判断し、
有意義な事業や活動に活用してもらうように支出します。
例えば、ライオン印を企業名や商品名に使っている財団や
企業（大京、国土計画、ライオン油脂、ライオン文具等）
に積極的に参加して頂くライオン・マーク・キャンペーン・
グッズ（文具、キャンディ等の商品にライオン・シールを
貼ったもの）を買ってもらうことや黄色の羽募金もあり広く
皆さんに参加してもらいます。呼びかけには資金ばかり
でなく労力奉仕もあります。希望する人にパソコン通信等
を通じて、時、場所、状況を広く世界一般にも知らせ募集
します。

その他は余白の関係で以下箇条書にします。

〈実行する事〉

事務代行の利用によりハイテク事務局を持ち、クラブ運営
の近代化を推進する。

〈止める事〉

ポスト冷戦における我々が目指す平和は自国民だけの安全
(Our Nation's Safety)をはかるだけでなく地球上の生き
物との共生を考える必要がある。ブラザークラブの周年行
事、チャリティゴルフ等にクラブとして互恵参加を止める。

八街グリーンライオンズクラブ L. 内藤 晃

題『私は歴史に残る最後のガバナー』

明日2017年11月24日にはケープタウンに入港すると先
ほどQE 2の船長のアナウンスがあった。航海は快適で、
南半球の南アフリカの洋上はまさに春の日差しである。

思えば22年前、林静誠地区ガバナー発案の「ほら吹き大
会」に応募した論文の入選がきっかけで推進してきたプロ
ジェクトが、ガバナーに選出された今年ようやく完成を迎
え、ひとときのバカンスを楽しんでいるところである。

論文内容は「ライオンズクラブ国際協会の解散」であった。

あの日、1996年4月28日船橋での地区大会会場で論文
発表したときは非難ごうごうであった。国際協会解散の提
案をしたのだから無理もない。しかしライオニズムの精神
に満ちあふれる同胞はこの理念にまもなく理解を寄せてく
るようになった。理念とはきわめて単純である。「人類に
ライオンと非ライオンがいてはならない」。したがって、エ
クステションが進み、すべての人類がライオンズクラブに
参加したならば国際協会は必要なくなるというものである。
2人のライオンが1年のうちに1人の新ライオンを入会さ
せる、というこれまたきわめて簡単なルールを守れば全世界
140万人のライオンが20年経たないうちに60億人になる

という計算がそれを裏付けた。退会するライオンがどの
ではないかという不安を一掃したのは、世界中のロータリ
ークラブをライオンズクラブに改組させた当時の浮谷ガバ
ナーであった。

この壮大な国際協会解散プロジェクトを推進した私は歴
史上最後の地区ガバナー…創立者メルビン・ジョーンズに
並び称されるに違いない…に今年就任して7月にシカゴで
開催された国際大会に出席し、1917年に第1回大会が開
かれて以来100年目の記念すべきこの大会において、ライ
オンズクラブ国際協会解散決議書に署名したのである。

世界いわば1つのクラブになった感動のこの国際大会が
終了し、日本にとって返した私が、20年前の約束を果たすべ
く林元ガバナーの自宅に乗り込みQE 2世界旅行の小切
手を渡り差し出すその手から受け取ったのが2週間前だっ
た。ケープタウンまでの空輸されてくる解禁直後のボジョ
レーヌボーアを今年は大西洋上で楽しむのだ。



(次号にその2を掲載します)

=当クラブの特徴=

昨年10月、我がクラブはC.N.25周年を迎えた。1/4世紀に亘る奉仕活動の健勝は地域社会に大きな足跡を残して来て居る。

今、我がクラブは26名の歴代会長の内18名が現役としてクラブを支える大きな力となって居る。退会されたのは残念乍ら故人と成ってしまった方がほとんどである。

25年の歴史の上では将来すべき事も沢山ある、CMをはじめとする先輩L達に発足から10年位迄の話を聞くと、今ではとても信じられないような苦労話や、楽しい思い出話がつきなく、大変面白い。

我がクラブが、結成から10年間位の間にしっかりと基礎を築く事が出来たのは、人望、常識、実行力共に傑出していた故野山青雲L（6代会長）をはじめとして、多くの先輩L達が、ともすれば脱線したり、横道にそれてしまいそうに成了った時、バックボーンと成って支えて来てくれたお陰であり、10周年を過ぎる頃からクラブの形も整い、基礎固めから発展の道をたどって来て、いつか地区内でも優秀クラブの一つと呼んでもらえる様に成って今日に至っているのである。

我がクラブのACTの柱は、設立当初から青少年育成であり、BS、GS、少年野球、リトルリーグ等々数多くの団体の設立やら活動の支援を継続ACTとして、ずっと続けて来て居るが、中でもYE生の交換に関しては地区内では断トツで先行していると自負して居る。それにともなって国際交流の意味でカナダのサウスエドモンドLCとの姉妹提携は15年の永きに居たって相互訪問やYE生の交換をスペシャルという形で切れる事なく続けて来て居る。この事は特筆すべき事の一つと思って居る。姉妹提携と一口に云っても、外国のクラブとの交流を15年も親密な関係を継続し続けて来ると云う事は、むしろ自らのクラブの活性化を計って行く事よりもっと難しいくらいである。本当の意味でお互いのクラブが真面目に、信頼して欲しい関係を積み上げて、お互いの立場を理解し合い乍ら協力しない事にはできない事で、特に年を重ねるごとにメンバーの高齢化が進み、発足当時の新鮮さが薄れて来ると尚更である。その点我がクラブが成功している一番の大きな要因はキャビネットの理解の上にスペシャルによるYE相互交換を続けて来られた為である。この事により、メンバーも子供達もお互いに共通の友人を多く持ち、更に深い理解につながり、より安心して交換活動が出来て、今ではYEOB生がお互いの国で生活をしたり勉強したり、YEを機に両国の関係をより深める所まで行って居る子供達が折り教える程になって居り、これが大変に大きく、両クラブの自慢とも成って居ると云えよう。

しかし、これらの事も我がクラブの自慢の出来る事柄でもあるが、もっと私達が誇りとしている執行部を経験した誰もが感じ、そして喜び且つ特に自信を持って云いきれる事がある。

それは、事を起こす時の「クラブメンバーの団結力」である。毎年度選ばれる役は、それぞれ自分達なりのACTを形にしてみたいと考え、より有効なものをと意気込んで年度に望む訳で、毎年、委員会、理事会に提出される議題の内、継続ACT以外の、その年度ならではのACTに関しては、大きな物に成れば成る程、議論は迫真して、時には賛否両論が激突して闘わされる事もしばしばあり、誇らしいメンバーで、はじめて理事に成了したなどはハラハラ、ドキドキする様な事も少なくない。みんなお互いに大人同志の事で、相手の立場も考えた発言を心掛けては居るが、これはこうだと古いなどがゴリ押しを通す様な事はさせないというムードが、15年を過ぎる頃からクラブ内に芽生えて、今ではベテランも新人もなく、みんな前向きの姿勢で議論に望む様に成り、重要議題は十分に再議して理事会を通す様に成って居る。そして更に肝心な事は、一度決定を見たら賛成者も反対者もなく、一丸と成って目的遂行に向かって力を合わせて行く事で、私は反対だからとか関係ないからとか云う傍観者が無い事が何より我がクラブの誇りとする所である。この事が周年行事や記念行事等の実施時には特によく現われて、他クラブからも良い評価を受けて居る一番大きな要因だと云える。

この事が歴代の会長が、どうしてもこれをやりとげたいと云う強い意志を持って、リーダーシップを取り自ら望めば、大抵の事は実施に結び付き執行部として、「本当に良いクラブに在籍した」と心から喜び感謝の気持ちを持つ事が出来て、又次の人に協力を惜しまない様に成ると云う結果を生んでいる。

歴代の会長が、もう自分の出番は終わったとばかり、会長職を終えるとライオンズクラブに在籍している事に意義を感じなくなつて退会すると云うケースがほとんど無いのは、この尊い経験から来て居るものと断言しても良いと思っている。

これが我がクラブの一番大きな誇りであり、この事がある限り、更にその存在価値を高め地域の為に大きな力を發揮して行く事と思う。

一度方針が決定したら「一致団結して事に當る」これが船橋東LCの特性である。



フリートークタイム

例会もやっとクラブメンバーの「見近なものに」と試行錯誤を重ね誕生したのが、「フリートークタイム」です。例会に出席しても会長挨拶、幹事報告、ディナータイムで9時の終了ゴングを待つのみ。

例会が親しみも無ければ味もソックも無いとの指摘からメンバーが自己紹介を兼ね故郷のこと、仕事のこと、結婚の馴れ初め、趣味、生き甲斐などなんでもいいから、メンバー自身の声で言葉で自分の話したい事を自由に話す場ができれば相互理解もすすむのではないかとの提案から「フリートークタイム」は始まった。

試み第一号は福祉ボランティアとして心配ごとにたずさわっているメンバーから「白井町における心配ごと分析」よもやま話し、白井町に生まれ育ち半生を過ぎようとする彼は、心配ごとに相談をとおして町の都市化がすすむにつれ犯罪も含め相談ごとの

— 4 R 2 Z —
白井ライオンズクラブ

わがクラブ
自慢

増加、地元の住民の方々が事件に巻き込まれるような事態など、容姿にもあった真面目な話に会場も静寂に包まれ、出席者からは歓嘆の声も…。

また趣味のゴルフでアメリカツアーリに参加、アメリカのゴルフ選手層の厚さに圧巻させられたゴルフ三昧の羨ましいはなし、メンバーに冷やかされながらも結婚迄の馴れ初めを話す物静かな彼の目に熱いものが…。定着しつつあるフリートークタイム、今あらたにメンバーの心の扉をたたき、熱い胸のうちを語れる場に変わりつつある「例会」の歩がはじまった。

メンバーの語らいには人間、その人の人生そのものが確かな言葉で語られ、その真心がメンバー同志の深い絆となり、そのことがクラブとして誇りにつながり、白井クラブが充実発展することにちょっぴり自信を深め自慢げの今日この頃です。



医療法人同和会

千葉病院

理事長 林 静 誠

船橋市飯山満町2-508 ☎ 0474-66-2176 (代表)

永遠の宝

2 R 2 Z

松戸東ライオンズクラブ

L. 伊藤 正義



「子供は家の宝」といわれます。そういう意味では我が家にも一人息子の家宝が居ります。

私が所属する東ライオンズクラブは、1982年1月松戸中央ライオンズクラブのスポンサーにより、目出度くチャーターナイト致しました。

バブル崩壊の昨今とは異なり、当時の日本経済は、アメリカに追い付け追い越せで景気もよく、社会は明るいムードが溢れて居りました。ライオンズクラブを取りまく環境も多聞にもれずバラ色に包まれ、あちらこちらで新クラブのチャーターナイトにその都度参加致しました。

チャーターナイトに参加致しますと、紅白のリボンの先につけたバッチを頂きます。そのバッチをライオン帽につけたり、帽子がいっぱいになりますとベストにつけたりし、バッチの数を競い合う光景が見られました。

私が集めたバッチの数も50個位にはなっていたと思います。そのバッチを時々眺めてはチャーターナイト当時のことと思い出して居ります。

私の今までの人生の中で、コレクションらしいことは皆無で、ライオンバッチ集めがコレクションの初めであって終りであると思います。したがってライオンバッチは私の宝物です。

私の所属する松戸東ライオンズクラブが10周年記念事業の一貫として、松戸南ライオンズクラブをスポンサーすることになり、私がガイディングライオンとして派遣されました。

松戸東ライオンズクラブのご支援を受け、松戸南ライオンズクラブメンバーの協力のもと、1992年5月にチャーターナイトを挙行、同12月までの1年間、理事会、例会とすべての行事に参加致しました。

ガイディングライオンとしてその年の最後の例会になる「忘年家族例会」に私の妻ともどもご招待を頂きました。

松戸南ライオンズクラブメンバー40数名が、私を信頼して頂いたことにより、ガイディングライオンの役割を及ぼすながら遂行させていただいたこと、そして数々の思い出を作って下さったことに感謝し、記念品をプレゼントしてその意志を表わしたいと思いました。

そこで「私の宝物」の登場です。

私にとりましては1個1個にそれぞれ思い出が詰まったバッヂです。南ライオンズクラブのメンバーひとりひとりに手渡し致しました。この瞬間、40数名の「我が家の宝物」の誕生です。松戸南ライオンズクラブのメンバーはこの時から私の永遠の宝物になりました。

我が家の宝物は、奉仕活動により、地域社会に大きく貢献して下さることで、より大きくなることに期待を致します。

「翔べ、我が家の家宝」

蝉の声大に吠えられ鳴き止めり
花オクラ一日で終り夕餉膳
年老いて昔々と孫に言い
名月も見上げてくれぬ井の蛙
ふらふらと歩いて来たか七十年
汗かきて刈り取る稻穂札に見え
【五客】
あの夏は幼きながら銃握る
苦労して育てた息子オウム教
うたた寝の女房の顔を小犬舐め
自民党総裁選で仲間割れ
浮かれたる銀行金庫信用落ち
【人】
ひぐらしの声聞きながら鐘を研ぐ
【地】
名月もこんな駄作とにが笑い
【天】
大国の世界平和も核の下

忘れられない言葉 “Environment”

9 R 1 Z

館山中央ライオンズクラブ

L. 渡辺 優雄



終戦で海軍文官教官を辞任し復員した君塚文雄先生が、昭和22年9月母校に帰ってきた。

昭和23年学制改革により我々は中学4年から新制高校2年に編入された。従来の地理の先生に変わって人文地理（社会、地理、歴史）という学科ができこの担任になったのが海軍時代「宣統帝」（中国ラストエンペラー満州国皇帝薄儀）というニックネームの君塚先生だった。端正なスタイルでさっそうと登場、時折英語を混じえてのスマートな授業だった。食べるものもなく、満足な家もなく、教科書さえ不自由な時代に自分意外のものを考えるこの「環境」という言葉は、我々にとっては実際に強烈な刺激であった。

自然環境、家庭環境、社会環境そして総ての生活環境を今改めて見直す時ライオンズクラブという環境の中で、多くの仲間達との「共感的体験」は活力あふれる問題解決集団としての環境を造り上げてゆくことだった。

「気付くことの大切さと共感の素晴しさ」

メンバーの全員がそれぞれの持場立場で参画し、究極の目的である「We. Serve」に向かって絶えず努力を続ける。足元に転がっている素材は無数にある、ただそれに気が付くか、気が付かないかであろう。ごくありふれた日常のクラ

ブ活動の中で「気付く」ことの大切さを教えられ「共感」の素晴しさを実感した。ライオンズクラブの理念は「人間尊重」が唯一の基盤である。人間尊重は「真の人間理解」からスタートしその本質を本当に理解した時間が違いない「共感」の素晴しさを味わうことができるのではないか。
「参加的創造的なクラブ造りを目指す10のキーワード」

私は今ゾーンチャアマンという役職を通じて多くのメンバーの方々と真剣なおつきあいをさせて戴いている。その事からそこで学んだ教訓を土台にして「参加的創造的なクラブ造りを目指す10のキーワード」をまとめてみた。これはある先輩からのお話しを自分なりに消化しようと試みたものでありクラブ造りに活用できる行動原理である。

1. リーダーシップとは「ある状況の中で、目標達成に向けて発揮される対人間の影響力」である。リーダーの優れたリーダーシップはメンバー同士に良い影響を与えあう。
2. 「行動するところに問題があり、人の集まるところに葛藤がある」「問題がない」ということが問題である。
3. 問題とは「何か変だな」「何とかしなければならないな」「もっとこうしたいな」等々素朴に感じたことそのものである。クラブの「不満集め」が「クリエイト、チエンジ、チャレンジ」の足がかりである。
4. 「問題に気付く」とは「その原因を他人事のように外にだけ求めず、自分にも役割分担があるのでないかと真剣に考えること」である。自分は批判者ではなく実践者である。
5. 本当に「困り抜き、悩み抜けば」従来の固定観念を崩すことができ、新しい発想が生まれる。目標、情報、状況、行動価値の共有この「共有」によって仲間は燃える。
6. 人は誰でも不完全。誰でも「知らない、忘れた、気が付かない」ことがある。「人皆不完全」の認識が、眞の協力体制をつくる。リーダーも自分をさらけだす「勇気と度量」をもとう。
7. 人は「加点法」によって奮いたつ。お互いがお互いに示す「注目、関心、興味」こそ決め手である。しかしそれは「策ではなく心である。」欠点指摘ではなく、美点凝視を心がけお互いの良い点を伸ばしあおう。
8. 本音で語りあおう。表面的な会話でなく「眞の対話」
9. 「気付き」は先取り行動の土台であり、創造性発揮のきっかけである。
10. 「共感」は「全員参加の支え」である。メンバー相互の「実感、納得の関係確立」でクラブの活力を生み出そう。
おわりに

「クラブのメンバー一人一人かけがえのない人達」である。若者にはセンスと行動力があり年配者には経験と知恵がある。人間尊重の運営に徹して参加的、創造的なクラブ造りを目指すこの10のキーワードの具体的実行は、必ずや行動を同じくするもの同士、快適な活力あふれる素晴らしいクラブの発展に寄与するものと確信する。

【佳作】

川 柳

(平成七年九月月見例会)
選者 平 井 吾 風

長南ライオンズクラブ

豊作に早乙女娘の姿なし
核実験やめれば仏浮かばれる
名月も二人の熱気に雲隠れ
産後あけ夫も妻も我れ忘れ
山間に藁焼く煙そこかしこ

L字のマークが光る街



白い梨の花が咲く、人口4万8千人の街にライオンズクラブが誕生したのは、1992年5月30日、3年6カ月前のことでした。メンバー各々はライオンズクラブへの理解の度合は別としても、無我夢中でチャーターナイト走り続け、慎ましながらも42名胸中に大きな夢をいだき船出しました。発足6カ月でメンバーの退会現象がではじめ、今では30名を前後しています。

退会するメンバーは口々に「おもしろくない」「もっと仲間意識があっても」「奉仕とは」等々、役員の説得もむなしく去っていきました。その後、例会の運営も改善され少しづつではありますが、この白井町にしっかりと根を下ろす活動、メンバー同士の交流も深めようと意欲的な面も出はじめ「ゴルフ同好会」「食事会」など例会を活用した親睦活動も始まりました。

特にゴルフ同好会メンバーが中心的に企画立案するチャリティーゴルフ、第1回目は社会福祉事業資金獲得交通安全基金獲得を目的に取り組みました。

社会福祉事業資金は白井町社会福祉協議会に寄付させて頂きたいへん感謝をいただきました。伏せて白井町社会福祉協議会の評議員として参加させて頂くための定款変更も行っていただき正式に評議員会メンバーとなることができました。また、交通安全基金で白井町に交通安全標識立看板をつくり、標語は白井町教育委員会にも協力していただき標語募集コンテストも行い、大変意義あることと賞賛していただきました。

第2回目は、視力障害者援助基金獲得を目的に取り組み新築された白井文化会館大ホールで「ふくしチャリティー」



4 R 2 Z
白井ライオンズクラブ
L. 江田 健治

と題し、講演会とコンサート。2部構成でチャレンジしました。1部の講演は「目の病気いろいろ」と題し、国立千葉大学医学部目科教授、安達恵美子先生の講演、お話しはスライドを使って、参加者にもわかりやすく、大変評判でした。2部のコンサートは、ほとんどがボランティア出演。白井高等学校吹奏楽団や地元出身の民謡歌手、石田俊雄さん（ピクターレコード）の出演で地元の方々と一緒に取り組んでいる姿に参加者から「こうあるべきだネ」と力強い激励をいただき、取り組んで良かったと言うメンバーの顔々は充実感に満ちていました。第3回目は、兵庫県南部地震救済基金獲得は千葉日報社を通じて現地に送っていました。被災者の方々を激励におとずれたメンバーの一人は「この災害は他人ごとではない」と千葉県防災問題に取り組み、白井町自主防災組織づくりに懸命に活動しています。

年度ごとのひとつひとつの取り組みが、白い花咲く梨の街白井の人々と共に歩み、その歩みはゆったりとしているが確かな足音で前に進んでいる。

この数年、街の片隅にもL字のマークを見ることができるようになったそのL字のマークがこの街にほのかな光りを放しつつある。その光りは次代を担う子供達に社会の第一線で活躍し、老後を心温かい白井の地で住もうとする高齢者の方々に受け入れられつつある。

そんな街にL字のマークは溶込んできた。メンバーの額の汗もこの街に浸みこみ…いつかはと希望のもてるこの街のたたづまいが好きです。



人生120年

4 R 1 Z

船橋ライオンズクラブ

L. 佐土 一正



早稲田大学の創立者、明治男の大隈重信は、人間は125歳までは生きると予言したそうだ。彼は84才で死んでいる。当時の平均年齢は40歳そこそくだったんだから倍は生きたことになる。

「還暦」私が60歳になったとき、還暦というのはいい言葉だなとつくづく思った。先人は120を想定してその半分の折り返し点を「還暦」としたんだろうか。私の人生も半分終わったなあ思えばあっという間だった。といっているうちに、だ・だ・だっとまた10年経った。12月には70になる。まるで冥土行き超特急人生号に乗っているみたいだ、早い早い。

還暦後は仕事半分、ボランティア半分という生活だったが、今年は降ってわいたように「クラブ会長」にさせられた。お陰で仕事が40%になっちゃった。

今年の運勢は、何をやっても当たるから思いきって仕事を延ばしてよいと言われてその気になっていた。それにここ2~3年のうちに大きな資金も入る目算があった。大金

を持って会長になつたら、みんなに喜んでもらえるだろうなあと、ほくそ笑んでいたのだが、すべては、うたたかの夢、「とらぬ狸の会長さん」になってしまった。

私が友人達と作った「美しく年を重ねよう人生120才まで」という会は、冗談半分の会合だったが、社団法人になっちゃった、お役人もたまには粹なことをする。

私の人生設計からすると69才で会長は、ちと早すぎる、75くらいが丁度いいんじゃないかな。このところのクラブ会長を見ていると、止めるとたちまち元気がなくなる、なかには退会してしまうものもいる。降りた途端に情熱が無くなってしまうんだろうか？

私は動けなくなってしまった時、退会を考えたい。だから70の会長では若すぎる。

それにしても、私の人生あと50年しか残っていない、献体は勘弁してもらいたいが、献眼・献腎の登録はした。少なくとも孫に笑われない死に方を考えよう。

追

悼

4 R 3 Z

八千代ライオンズクラブ

L. 小宮 保廣

平成七年十月二十五日、二十七日秋風梢を吹き、落ち葉飛び交うこの時、二枚の葉が風に舞うが如く相次いで天に召されました。

平成七年十月二十五日 中村 清成L 享年 六十六才

十月二十七日 小久保 敏L 享年 六十八才
生者必滅会者定離は世の習いとは申しますが、まさに巨星墜つの感を深くしここに、生前のお二人をしのび紙面をお借りして追悼文とします。

故 中村 清成Lは、クラブ創立メンバーとして、26年間にわたりクラブ会長を始め333-C地区CAB役員としても輝かしいライオン活動経歴を誇り当クラブはもとより地区でも指導的な人で在りました。そして寺社建築の名工、名人として芸術建築を残し、また芸術家として仏像制作に情熱を傾注していたのです。本年九月二日に、ご長男がめでたく挙式され、その節お元気な姿に接しお祝を述べさせて頂いた折りのうれしそうなお顔が、まぶたから離れません、走馬灯の様に脳裏を巡ります。

故 小久保 敏Lは、1973~95年の23年間、81年第13代クラブ会長を勤められました。また、私はその飄々とした物腰を愛した一人であります。事業に当たっては非常に厳しい一面をお持ちでもありました。地元の八千代市の発展にも尽され、『世界のロック・アイス』を知らぬ愛飲家はいない程、有名企業にされました。そして故 小久保Lのライオニズムの精神は残された社員の方々に継承されている事に深く感銘いたしました。

こうして振り返りますれば、万感こもごも胸に迫って惜別の念が溢れ語り尽くせぬ事ばかりです。終りにお二人のご冥福をお祈りますと共に、志半ばにして他界された全世界の物故ライオンに対しまして『ライオンズの誓い』を継承して行く事を使命として決意します。

合掌

昨年度の地区ニュース「友愛」第5号でもご紹介しました成田平成ライオンズクラブのL横田浩昌が、昨年も8月2日より8月10日まで広島市役所から兵庫県姫路市役所までの260km、そして暮れもおしこまつた12月25日より12月31日では姫路市役所から三重県の亀山市役所へ215kmのチャリティランを行いました。

老朽化した心身障害者生活作業施設「いんぱ学舎」の施設建て替え資金の寄付を募る目的で、平成5年12月からはじめた沖縄から北海道までの日本縦断ランの第6回目と7回目にあたります。スタートからの総距離は1434kmになりました。

この模様は毎回マスコミにも大きく取り上げられ、各地でライオンズクラブメンバーをはじめ一般の人たちからも心温まる支援をうけています。

平成11年の計画達成へ向けて走り続ける我仲間にエールをおくろうではありませんか。頑張って下さい。



地区のうごき

行事報告

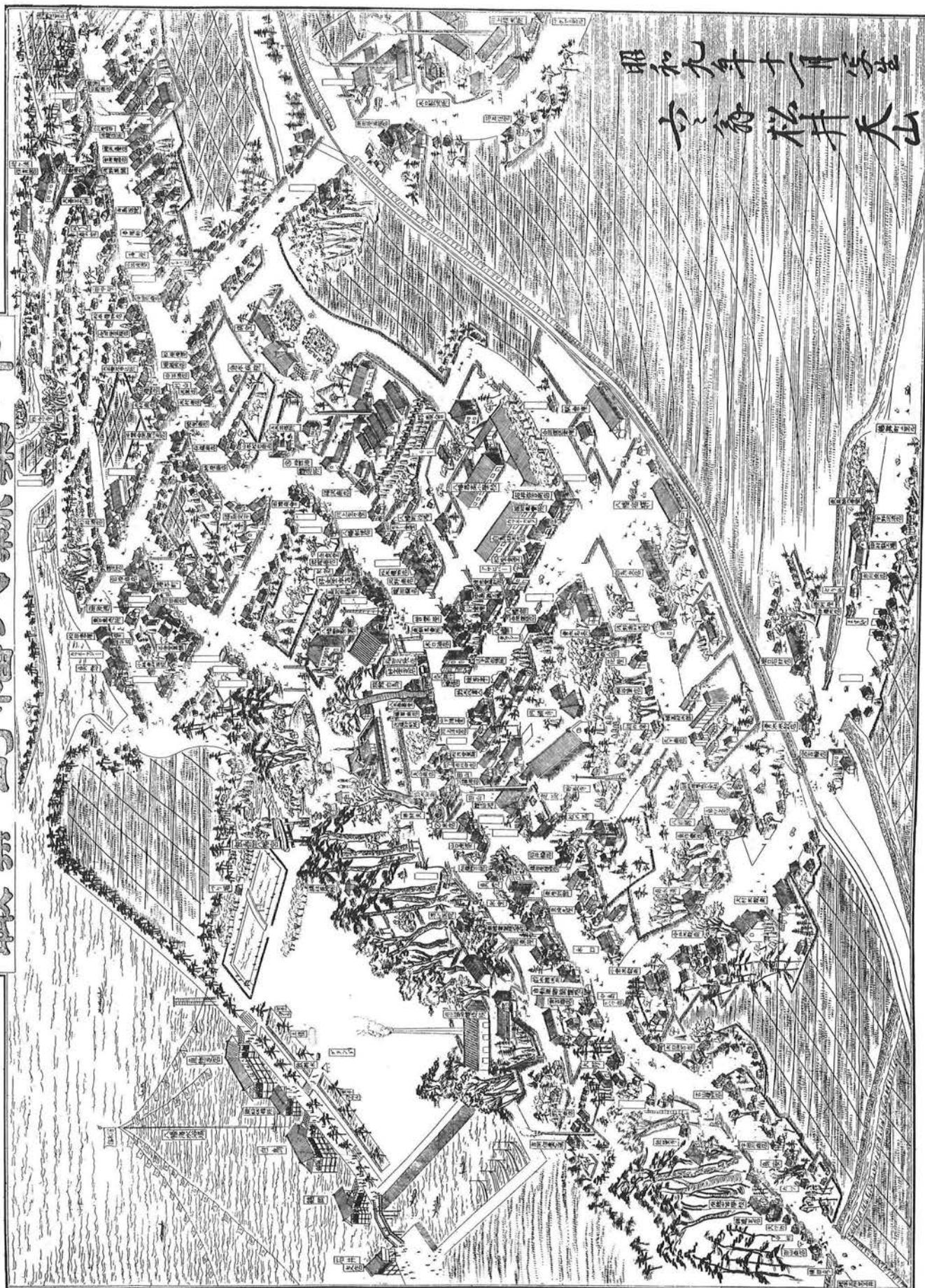
- 2/4 (日) 第15回千葉県高等学校弁論大会
千葉県労働者福祉センター
- 2/4 (日) 地区アクトビティ資金運営委員会
千葉県労働者福祉センター
- 2/5 (月) 第1回333-C地区ゴルフライオンズカップ
真名カントリークラブ
- 2/11 (日) 第3回キャビネット会議運営予備会議
千葉県労働者福祉センター
- 2/11 (日) 第3回キャビネット会議
千葉県労働者福祉センター
- 2/17 (土) 船橋さざんかLCチャーターナイト
ホテルサンガーデンららぽーと
- 2/20 (火) リジョン・チェアマン会議
キャビネット事務局
- 2/21 (水) 第1回内局引継会
船橋市、東魁桜
- 2/22 (木) 333-C地区ライオネス研修会
鬼怒川
- 2/23 (金) 333複合地区ライオネスフォーラム
小山市
- 2/25 (日) 第2回YE 夏期派遣生オリエンテーション
千葉県労働者福祉センター
- 2/26 (月) 年次大会打合せ
船橋市

行事予定

- 3/10 (日) 旭LC 30周年
旭市、ブライダル武藏野
- 3/14 (木) 柏中央LC 20周年
柏市、プラザハイアン柏
- 3/16 (土) 富津LC 30周年
富津市、富津公民館
- 3/26 (火) 夏期YE 派遣生333-複合地区合同オリエンテーション
上野精養軒

- 4/6 (土) 市原東LCチャーターナイト
市原市、ホテルニューしづか
- 4/6 (土) 市原南LC 30周年
市原市、ホテルニューしづか
- 4/14 (日) 沼南LC 20周年
柏玉姫殿
- 4/14 (日) 第3回YE 夏期派遣生オリエンテーション
千葉県労働者福祉センター
- 4/14 (日) 千葉エコーLC 30周年
ホテルパシフィック千葉
- 4/14 (日) 佐倉中央LCチャーターナイト
ホテルロイヤルプラザ
- 4/21 (日) 東金LC 30周年
東金中央公民館
- 4/27 (土) 333-C地区年次大会前夜祭
船橋市、ホテルサン・ガーデン
- 4/28 (日) 333-C地区年次大会
船橋アリーナ
- 5/11 (土) 時期キャビネット構成員等研修会
千葉県労働者福祉センター
- 5/12 (日) 栗源LC 10周年
成田ウィンズホテル
- 5/12 (日) 第4回YE 夏期派遣生オリエンテーション
千葉県労働者福祉センター
- 5/19 (日) 次期三役研修会
千葉県労働者福祉センター
- 5/26 (日) 333複合地区年次大会
小山市
- 6/1 (土) 大栄LC 25周年
- 6/9 (日) 第4回キャビネット会議
船橋グランドホテル
- 6/23 (日) 夏期YE 派遣生壮行会
千葉市、ホテルニューツカモト
- 内局会議・年次大会準備打合せ毎週火曜日18時30分～
船橋市、ワールドナーシングホーム
- TEL. 0474-67-6111

松井天山鳥瞰図



聚海書林版

八街市 (6R)

故
ライオン

慎んでご冥福をお祈り申し上げます



故 L. 高津 四郎
(H.7.7/21逝去)
銚子中央LC
・1973年
入会
・1979~80年
銚子LC会長
・1990年4月
銚子中央LCに移籍
・1994~95年
地区年次大会顧問



故 L. 池内 秀一
(H.7.7/26逝去)
千葉LC
・1963年12月10日
入会
・1968~69年
テールツイスター
・1989~90年
会長



故 L. 山崎 金作
(H.7.8/9逝去)
多古LC
・1968年7月14日
入会
チャーターメンバー
・1973~74年
第1副C会長
・1974~75年
会長



故 L. 中島市太郎
(H.7.9/14逝去)
市原LC
・1971~72年
幹事
・1973~74年
会長
・1976~77年
ZC
・1983~84年
DDG(RC)



故 L. 飯塙 末雄
(H.7.10/6逝去)
柏LC
・1969年12月
入会
・1975~76年
テールツイスター
委員長
・1987~88年
会長



故 L. 池尻 博行
(H.7.10/7逝去)
白子LC



故 L. 中村 清成
(H.7.10/25逝去)
八千代LC
チャーターメンバー
・1974~75年
クラブ会長
・1977~78年 ZC
・1985~86年 DDG
・1986~90年 CAB
長期リサーチ委員長
ets.



故 L. 小久保 敏
(H.7.10/27逝去)
八千代LC
・1981~82年
会長
・1985~88年
理事
・1988~90年
監査



故 L. 小谷八十吉
(H.7.10/28逝去)
房州白浜LC
会長
リジョンチェアマン
チャーターナイト
20周年記念大会
委員長



故 L. 浪川 勝男
(H.7.10/31逝去)
海上LC



故 L. 加瀬 俊雄
(H.7.11/19逝去)
旭LC
・1985~86年
会計
・1990~91年
ゾーン幹事
・1994~95年
会長
地区年次大会副委員長



故 L. 上條 治平
(H.7.11/26逝去)
下総中山LC
チャーターナイト
委員長
会長
会計



故 L. 佐々木光男
(H.7.12/10逝去)
船橋東LC
・1988年2月入会
・1992~93年幹事
・1993~94年
第三副会長
・1994~95年
第二副会長
・1995年
第一副会長



故 L. 田中 純一
(H.7.12/20逝去)
習志野中央LC
第三副会長
幹事
会計



故 L. 中村 一雄
(H.7.12/28逝去)
佐原LC
チャーターメンバー
入会
・1966~67年
第3代会長
・1980~81年
15周年式典委員長
・1990~91年
地区年次大会顧問

平成7年7月1日より12月31日までに入会されたライオンをご紹介いたします。

1R1Z

下総中山ライオンズクラブ

L. 北野 和之・医療機具販売

船橋中央ライオンズクラブ

L. 友田 直・海苔販売業

4R1Z 船橋グリーンライオンズクラブ

L. 飯島 匡巳・処理業

4R1Z 船橋グリーンライオンズクラブ

L. 青山 芳忠・木材販売業

L. 足立 信吉・建築金物

L. 石橋 啓司・建設

L. 石井 和好・レツカ一

L. 石橋 正明・スポーツ研究

L. 海老原 勇・農業(アパート経営)

L. 大西 福生・プレス加工

L. 大畠 昭・防水工事

L. 川村 龍平・製麺

L. 加藤 音成・製氷

L. 木口 大渕 真・製麺

L. 北畠 大野 直行・左官

L. 佐原 克也・重機リース

L. 佐野 隆義・農業

L. 柴崎 正幸・不動産

L. 仁見 博久・自動車教習所

L. 佐藤 損害保険

L. 佐藤 仁見・架設

7R1Z

佐原ライオンズクラブ

L. 子井戸和夫・興業銀行

多古ライオンズクラブ

L. 渡貫 正士・土木建設資材商社

7R3Z 旭ライオンズクラブ

L. 守部 泰史・電気商会

L. 伊藤 晃・工務店

L. 安藤 良雄・製菓

L. 小林 博・醤油会社

L. 大木 保男・大木商会

L. 林 幸治・配管

L. 林 輝明・ガソリンスタンド

L. 本田 早川 文雄・鉄鋼

L. 村田 六崎 恒治・車両販売

L. 三浦 山下 道春・左官

L. 吉種 金良 清・自動車鍍金塗装

L. 吉橋 矢野 弥太郎・木材販売

L. 吉種 幸三・建設

L. 山下 宏幸・ビルサービス

L. 一昭 土木 吉種 勇・ビルサービス

L. 佐藤 隆・精肉販売

L. 飯島 敏彦・保険金融業

L. 古城 幹雄・電子機器製造業

L. 明・設計士



お知らせ

333-C地区 第42回年次大会について

「ウィサーブ！創造・そして挑戦」を大会スローガンに楽しいイベント等を企画しています。多くの人の来会をお待ちしています。

日 時：1996年4月28日（日）

場 所：船橋市 船橋アリーナ（船橋市総合体育館）

前夜祭：1996年4月27日（土）

場 所：船橋市ホテルサンガーデンららぽーと

333-C地区

1996年2月末会員数

ライオンズクラブ	110クラブ	4,700名
レオクラブ	9クラブ	205名
ライオネスクラブ	13クラブ	270名

〈お詫び〉

地区ニュース3号41頁「鏡が浦の夕照」を投稿して戴いたL. 青木芳政所属クラブは東庄LCではなくて館山中央LCでした。

編集後記

編集や校成には複数の委員L. が神経を使って何度か見たものの、出来上がってから見落としや間違いを見つけてシマッタと思う。3号も一部御迷惑をおかけした。そんな時「ご苦労様、良かった良かった」と林ガバナーL. をはじめ、多くのL. から慰労や励ましの言葉をうけ多少安堵の気持ちとなり有り難く、我がチームも気を取り戻し「発行祝い」と称して赤提灯で一杯。ワイワイガヤガヤホットしたのもつかの間、今号の原稿と写真が予定通り集まっていないと解って一同真っ青。急遽地区PR情報委員の各L. に無理なお願いをしてやっとなんとか今号を発行する事が出来ました。（又、船橋北クラブのL. 長沢賢一から「編集の仕方」の本を参考のためにと持つて来て色々と教えて戴いた。友情に感謝、感激。）

（長沢L. は3号のガバナー、知事新春対談の写真撮影に御協力戴きました）

L. K. Y

〈地区PR情報委員会からのお願い〉

- 1, 新しい風「新入会員の紹介」（写真無し）と物故L.（写真有）を今号より掲載しますので郵便にて連絡下さい。（地区内各クラブへ「文書番号 G発95-077」で連絡済です）
- 2, 地区ニュースは各クラブへ10部前後余分に送付しております。一般の多くの人が集まる場所へ配布願います。ライオネスクラブ、レオクラブを管掌しているクラブへは更にそのメンバー数を送付しておりますのでお渡し下さい。
- 3, 原稿を募集しています。「我がクラブ自慢」等お気軽に投稿下さい。
- 4, 年次大会会場にクラブ会報コーナーを設置します。来る4月28日の年次大会の会場入り口付近にクラブ会報コーナーを設置します。当日多めに御持参して戴き、コーナーへ展示下さる様お願いします。

トニヤチョウ発

“何クラブ届いたかね～”朝一番キャビネット幹事さんの電話による第一声です。
そうです333-C地区第42回年次大会登録申込みの〆切日、2月10日を待っての登録状況の確認です。
さあ!! 後半は年次大会に向かってまっしぐら。
事務局もキャビネット幹事さんの“シッポ”にしがみついて頑張っています。“3人もぶらさがられては重い！”キャビネット幹事さんの悲鳴？が聞こえてくるようです。

みなさまのCAB事務局より

ライオンズクラブ国際協会333-C地区 地区ニュース

創造 No.4

（1996年3月1日発行）

発行人 地区ガバナー 林 静誠

編集人 地区PR情報委員長 山中康誠

印刷所 株式会社 東都印刷

発行所 ライオンズクラブ国際協会333-C地区
キャビネット事務局

〒260千葉市中央区問屋町1番55号シーオービル6F

TEL 043-243-2528 FAX 043-247-4756

…と楽しいホテルです。



ご宿泊 ご婚礼 ご宴会 セミナー

客室243室

和・洋・中レストラン

大・中・小宴会場(7室)

結婚式場

ららぽーと教会チャピ―

迎賓館 喜翁閣

専用駐車場150台



船橋ららぽーと内 地上12階・地下1階

ホテルサンガーデンららぽーと

GARDEN HOTELS

船橋市浜町2-1-1 ☎ (0474) 31-7531



船橋グランドホテルはさり気なきの中にも
“心のあるサービス”を
いつまでも大切にしたいと存じます

ご宿泊・ご婚礼・ご宴会・セミナー



船橋グランドホテル

〒273 千葉県船橋市本町7-11-1
JR/船橋駅北口徒歩3分 ☎ 0474 (25) 1121 (代)

先様の気持を生かす、 心くばりの贈り物。東武の商品券



全国有名百貨店でのショッピングをはじめ、お食事、ご旅行など、使い方自由自在。

グッドデパートメント

TOBU

船橋 東武

船橋市本町7-1-1 TEL.代表/0474-25-2211
開店10時/閉店7時 地階食料品・1階・2階は8時まで営業